



国立大学法人

# 岐阜大学概要 | 2010

# 目次

## Contents

岐阜大学の理念と目標	01
岐阜大学憲章	02
環境への取り組み	03
教育研究組織	04

### 教 育 学ぶ岐阜大学

特色ある教育改革の取り組み	11
学生数	14
入学状況	16
学部卒業生数・進路状況	17
国家試験合格状況・教員採用状況	18
大学院修了者数・進路状況	19
学生支援施設	21
学生サークル活動	22

### 研 究 究める岐阜大学

プロジェクト研究センター	23
21世紀COEプログラム	24
科学研究費補助金	24

### 社会連携 貢献する岐阜大学

地域連携	25
公開講座・シンポジウム	26
高大連携	26
産官学連携	27
国際交流	29

### 組 織

運営組織	33
役員等一覧	34
役員・職員数	36
予 算	37
寄附金	37
沿 革	38
歴代学長	39

### キャンパス

建物配置図	40
土地・建物	42
所在地・交通案内	44

写真撮影(表紙,目次):杉浦 隆(工学部)





# 岐阜大学の理念と目標

Ideals and Aims of Gifu University



岐阜大学長 森 秀樹

## 学び、究め、貢献する

### 【理念】

岐阜大学は、「学び、究め、貢献する」地域に根ざした国立大学として、東西文化が接触する地理的特性を背景としてこの地が培ってきた多様な文化と技術の創造と伝承を引き継ぎ、人と情報が集まり知を交流させる場、体系的な知と先進的な知を統合する場、学問的・人間的発展を可能とする場、その成果を社会に発信し、有為な人材を社会に送り出す場となることによって、学術・文化の向上と豊かで安全な社会の発展に貢献する。

### 【目標】

- 1) 岐阜大学は、人材養成を最優先事項として位置付け、質・量ともに充実した教育を行い、豊かな教養と確かな専門的知識・技能、広い視野と総合的な判断力、優れたコミュニケーション能力に加え、自立性と国際性を備えた高度な専門職業人を幅広い分野で養成し、社会に輩出する。
- 2) 岐阜大学は、優れた教育を実践するための研究基盤を維持するとともに、生命科学及び環境科学分野をはじめとする独創的、先進的研究の拠点形成を目指し、その成果を社会に還元する。
- 3) 岐阜大学は、多角的な教育力及び研究力により、地域の諸課題に取り組み、地域社会において存在感のある大学として、地域社会の活性化に貢献する。
- 4) 岐阜大学は、教育と研究の特性を生かした大学の国際化を推進し、学生や教職員の国際的通用性を高め、地域社会の活性化に貢献する。

#### 【学 章】



デザイン 元岐阜大学教授 坂井範一

1. 岐阜大学の学章は鸕舟と篝火を意味する。  
篝火は学問を船は人類の幸福を意味するであろう。
1. 陰陽二体の組み合わせは天地自然を意味する。  
総ての存在と活動調和とバランスを意味するであろう。
1. 黒とオレンジ色の組み合わせは情熱を意味する。  
また感性の豊かさや品位を意味するであろう。
1. 単純化された形は現代の清潔感と活動性を意味するであろう。  
それはまた時代の速度と知性を意味するであろう。

#### 【シンボルマーク】



デザイン 宮川ヒロミ氏

創立 60 周年を迎えた平成 21 年、デザインを広く公募し決定した。岐阜の地での豊かな教育研究活動が、日本全体、世界へと発信されていくこと。そして岐阜大学学生が自らの将来に矢のようにまっすぐすすむことを祈念してデザインされている。また、学章が力強い弓と融合し、岐阜大学の頭文字「G」を形作っている。

## 学生憲章：「岐阜大学は学生に何を期待しているか」

学生の皆さん。岐阜大学で学ぶ数年間は、皆さんの人生において最も輝いている、それ故に最も大事な時間なのです。岐阜大学における学生生活は、将来の生き方を決める上で決定的に重要です。学問の基礎と高度な専門知識を学ぶと同時に、人間、自然、社会に対する豊かな感性と洞察力を磨いてください。大学の教職員は皆さんの期待に添うよう最善を尽くします。皆さんも努力してください。

1. 本をたくさん読み、学んでいく上での土壌を作ろう。
2. 文学と芸術を愛し、人間と自然への理解を深めよう。
3. 専門職業人として、高度な専門知識を身につけよう。
4. 自分の考えを論理的な文章にまとめ、発表できるようにしよう。
5. 国際語である英語をマスターし、十分に意思疎通できる实力をつけよう。
6. IT技術により、正しい情報の受信と発信ができるようにしよう。
7. 長い人生を生きるための体力をつけ、健康を守ろう。

## 教員憲章：「岐阜大学の教員は何をすべきか」

岐阜大学は、「教育に軸足を置いた教育・研究大学」を理念としている。学生憲章にしたがい学生を教育し、優れた人材を社会に送り出すことが大学に課せられた最大の使命である。質の高い教育には、学問に対する情熱と質の高い研究の裏付けを必要とする。教員は独創的研究を進め、世界トップレベルの研究を目指す。教員は、教育者、研究者としての高度な倫理観が求められていることを常に意識しなければならない。

1. 教育に軸足を置いた教育・研究大学として、学生憲章に示す教育を実践する。
2. 広い視野、深い専門知識、総合的な判断力と行動力をもった人材を育成する。
3. 研究に取り組む姿、日常生活、それらのすべてが学生に対する教育である。
4. 教育者、研究者としての倫理を常に自覚し、行動する。
5. 目標を高くもち、世界トップレベルの研究を目指す。
6. 長期的視点と広い視野で、独創的な研究を進める。
7. それぞれの専門分野を通して、社会貢献に努める。

## 社会貢献憲章：「岐阜大学はどのように社会の要請と期待に応えるか」

法人化以前の大学は、『象牙の塔』という言葉に象徴されるように、社会から切り離された一段と高い存在のように思われていた。しかし、法人化後、大学はあらゆる面で社会から期待される存在になった。これを受けて、大学は積極的に社会に貢献しようと努めている。岐阜大学は、中部地域に立脚した国立の地方総合大学として、教育、研究、産業、医療、文化など、広く地域社会の要請と期待に応えられるよう努めなければならない。国際的にも、教育、研究面で貢献することが求められている。

1. 優れた人材の育成が、大学に期待されている最大の社会貢献である。
2. 地方総合大学の重要な役割は、地域社会との連携、協働である。
3. 産官学間の連携により、地域産業の振興に貢献する。
4. 地域住民、行政機関との協力により、地域の行政、経済、教育、文化の発展に貢献する。
5. 附属病院は高度先進医療センターとして地域の医療に貢献する。
6. 先進国、途上国と協力して国際的な社会問題の解決に貢献する。
7. 海外の大学との連携および留学生教育を通して、国際社会に貢献する。

## 大学運営憲章：「期待に応える大学であるために何をすべきか」

教育、研究、社会貢献など大学に対する社会からの期待は大きい。中期目標、中期計画を策定し、それを確実に実行することが、社会の期待に応えるための基本となる。大学という、普通の社会一般の組織とは少なからず異なる独自の組織形態と価値観をもつ組織を、本来の目的に向かって進めるためには、学長のリーダーシップのもとに、役員と教職員が問題意識を共有し、大学運営に当たることが重要である。特に、戦略性を重視し、個性ある大学像を築くことが必須条件である。国立大学法人をめぐる厳しい財政状況下で、大学の活性を保ち、本来の任務である教育、研究、社会貢献を進めるためには、経営と管理運営に戦略性が必要である。

1. 中期目標、中期計画を確実に実行する。
2. 戦略性を重視し、明確な方針と学長のリーダーシップのもとに大学運営にあたる。
3. 環境問題を重視した運営を行い、教育、研究、社会貢献に反映させる。
4. 厳しい財政状況を乗り越えるため、明確な経営戦略のもとに運営する。
5. 外部資金の獲得に務め、財政基盤を強化する。
6. 情報の透明性と公開性を重視し、効率的かつ合理的な運営を行う。
7. 教職員に優れた人材を採用し、その育成に務める。

## 岐阜大学「環境ユニバーシティ」宣言

本学は、岐阜大学環境方針に基づき、  
環境に配慮した特色ある諸活動を継続的に展開し、  
地域社会に貢献し、地域とともにありつづける大学として  
「環境ユニバーシティ」を宣言します。

平成 21 年 11 月 27 日 岐阜大学長 森 秀樹

### 【岐阜大学環境方針】 (平成 18 年 9 月制定)

本学の理念は、岐阜の地が培ってきた特性を継承して、「知の伝承と創造」を追究し、人と情報が集まり知を交流させる場、体系的な知と先進的な知を統合する場、学問的・人間的発展を可能にする場、それらの成果を世界に発信し、人材を社会に送り出す場となることによって、学術・文化の向上と豊かで安全な社会の発展に貢献することです。この理念を達成するとともに、飛山濃水と称される豊かな自然に恵まれた岐阜の地に相応しい環境に配慮した大学を創り出すとともに、環境を担う優れた人材育成に努めます。

### 【基本方針】

1. 岐阜大学の特長を生かした環境教育・研究を推進します。
2. 岐阜大学の持つ教育力や研究力を生かし、地域社会に貢献します。
3. 教育・研究活動の環境側面を常に認識し、環境影響を評価し、環境汚染の予防に努めます。
4. 省エネルギー・省資源、リサイクル、グリーン購入を推進し環境負荷の一層の軽減に努めます。
5. 教育・研究に関わる環境関連法規制及び岐阜大学が同意するその他の要求事項を徹底順守します。
6. 環境マネジメントシステムの見直しの枠組みを設定し、継続的な改善を図ります。
7. 毎年度活動目標を設定し、達成していきます。

岐阜大学は、ISO14001 の全学認証取得を目指しています。

本学は平成 21 年 12 月、環境マネジメントシステム (ISO14001) の登録範囲を拡大し、平成 15 年取得の地域科学部に加え、大学本部と図書館の認証を新たに取得しました。



太陽光パネル設置



クリーンキャンパス



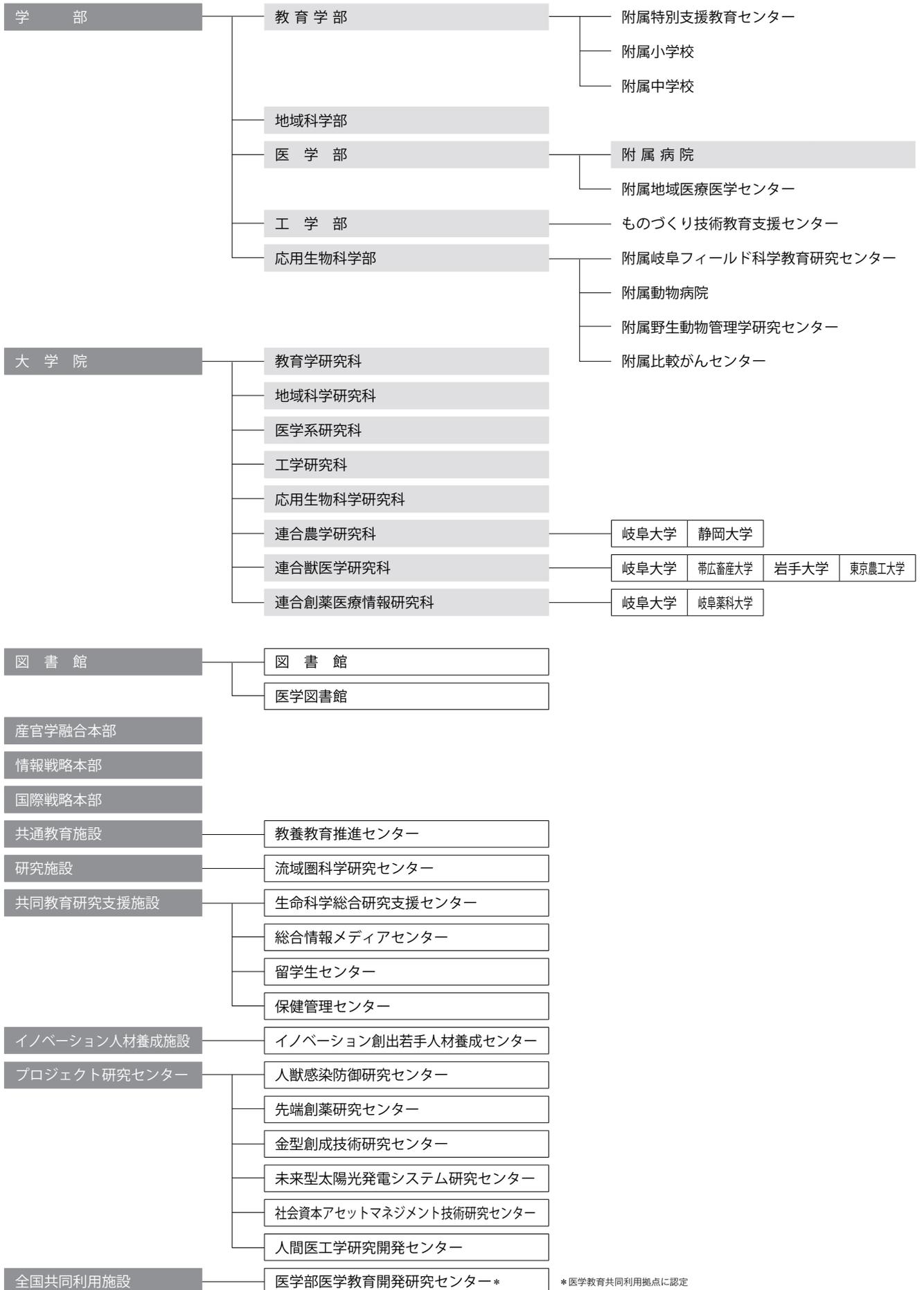
バス停壁面緑化イベント



植樹イベント

# 教育研究組織

Academic Organization



\* 医学教育共同利用拠点に認定

# 学部

教育学部 3課程 12講座	学校教育教員養成課程	講座	国語教育, 社会科教育, 数学教育, 理科教育, 音楽教育, 美術教育, 保健体育, 技術教育, 家政教育, 英語教育, 学校教育, 特別支援教育
	特別支援学校教員養成課程		
	生涯教育課程		
		附属施設	附属特別支援教育センター 附属小学校 附属中学校

地域科学部 2学科 4講座	地域政策学科	講座	地域政策, 地域環境
	地域文化学科		地域文化, 地域構造

医学部 2学科	医学科	学科目	人体構造学, 代謝・機能学, 遺伝・発生・発達学, 病原体学, 薬理・中毒学, 病理学, 神経・精神・行動学, 消化器・検査医学, 内分泌代謝学, 血液学, 循環器・呼吸器学, 腎・尿路学, 運動器学, 皮膚科学, 感覚器医学, 免疫応答学, 女性生殖器学, 麻酔・救急・疼痛学, 放射線医学, 地域・産業保健学, 生命倫理・法医学
	看護学科	講座	基礎看護学, 母子看護学, 成人・老年看護学, 地域・精神看護学
		附属施設	附属病院, 附属地域医療医学センター

工学部 9学科 34講座	社会基盤工学科	講座	地圏マネジメント工学, 構造設計学, 環境保全学, 都市デザイン 寄附講座: 地盤構造物保全学講座(OYO・テクノソール) 地盤防災講座(前田工織)
	機械システム工学科		設計力学, 創造システム工学, 流体システム工学, 熱エネルギー工学
	応用化学科		分子設計工学, 物質変換工学, 物質機能工学
	電気電子工学科		固体電子工学, 電気エネルギー工学, 情報システム工学
	生命工学科		生体物質工学, 生体反応工学, 応用分子生物学, 生命情報工学
	応用情報学科		情報基礎, 情報環境, 知識情報, メディア情報
	機能材料工学科		材料創成工学, 材料物性工学, 材料プロセス工学
	人間情報システム工学科		人間支援システム工学, 知能制御システム工学, 機械情報工学, エネルギー制御工学
	数理デザイン工学科		計算数理, マテリアルデザイン, システムデザイン
	附属施設	ものづくり技術教育支援センター	

応用生物科学部 3課程 6コース	食品生命科学課程	コース	食品科学, 分子生命科学
	生産環境科学課程		応用植物科学, 応用動物科学, 環境生態科学
	獣医学課程		獣医学
		附属施設	附属岐阜フィールド科学教育研究センター 附属動物病院 附属野生動物管理学研究センター 附属比較がんセンター



教育学部



地域科学部



医学部 / 同附属病院



工学部 / 応用生物科学部

# 大学院

教育学研究科	教職大学院課程	教職実践開発専攻	コース	学校改善, 授業開発, 教育臨床実践, 特別支援学校			
		修士課程	心理発達支援専攻	コース	臨床心理学, 学校心理学, 特別支援教育		
	カリキュラム開発専攻		専修	カリキュラム開発			
	教科教育専攻		専修	国語教育, 社会科教育, 数学教育, 理科教育, 音楽教育, 美術教育, 保健体育, 技術教育, 家政教育, 英語教育			
地域科学研究科	修士課程	地域政策専攻	領域	経済社会, 行政社会, 自然環境			
		地域文化専攻		社会生活, 人間文化			
医学系研究科	博士課程	医科学専攻	講座	分子・構造学	分野	細胞情報学, 分子生理学, 薬理病態学, 寄生虫学, 遺伝発生学, 内分泌代謝病態学, 小児病態学, 病態情報解析医学	
				病態制御学		解剖学, 分子病態学, 高度先進外科学, 整形外科学, 皮膚病態学, 泌尿器科学, 麻酔・疼痛制御学, 口腔病態学	
				神経統御学		高次神経形態学, 生理学, スポーツ医科学, 神経内科・老年学, 精神病理学, 脳神経外科学, 耳鼻咽喉科学, 眼科学*脳病態解析学	
				腫瘍制御学		腫瘍病理学, 免疫病理学, 腫瘍外科学, 消化器病態学, 血液病態学, 産科婦人科学, 放射線医学, 疫学・予防医学, 臨床腫瘍学	
				医療管理学		医療情報学, 総合病態内科学, 臨床薬理学, 医療経済学, 救急・災害医学, 法医学, 産業衛生学, 医学教育学	
	博士前期課程 後期	再生医科学専攻	講座	再生分子統御学 再生工学 再生応用学	分野	組織・器官形成, 神経生物, 病原体制御学 生命機能分子設計, 知能イメージ情報 循環病態学, 呼吸病態学, 医学系倫理・社会医学	
修士課程	看護学専攻	領域	看護学教育	分野	継続看護学教育	専門分野	看護学教育, 生体システム学
			実践看護学		母子看護学		母性看護学, 小児看護学
成人看護学	急性期看護学, 慢性期看護学						
地域健康援助学	地域看護学, 精神看護学, 老年看護学						
		寄附講座	脊椎骨関節再建外科学講座(中外製薬株式会社ほか) 地域医療学講座(岐阜県)				
工学研究科	博士前期課程	社会基盤工学専攻	講座	地図マネジメント工学, 構造設計学, 環境保全学, 都市デザイン			
		機械システム工学専攻		設計力学, 創造システム工学, 流体システム工学, 熱エネルギー工学			
		応用化学専攻		分子設計工学, 物質変換工学, 物質機能工学			
		電気電子工学専攻		固体電子工学, 電気エネルギー工学, 情報システム工学			
		生命工学専攻		生体物質工学, 生体反応工学, 応用分子生物学, 生命情報工学			
		応用情報学専攻		情報基礎, 情報環境, 知識情報, メディア情報			
		機能材料工学専攻		材料創成工学, 材料物性工学, 材料プロセス工学			
		人間情報システム工学専攻		人間支援システム工学, 知能制御システム工学, 機械情報工学, エネルギー制御工学			
	数理デザイン工学専攻	計算数理, マテリアルデザイン, システムデザイン					
	環境エネルギーシステム専攻	環境システム, 再生可能エネルギーシステム, バイオマス変換システム, 新機能エネルギー材料学					
	博士後期課程	生産開発システム工学専攻	講座	社会基盤工学, 生産基礎工学			
		物質工学専攻		応用材料化学, 応用分子化学			
		電子情報システム工学専攻		電子物性工学, 知識情報工学			
		環境エネルギーシステム専攻		環境システム, 再生可能エネルギーシステム, バイオマス変換システム, 新機能エネルギー材料学			
応用生物科学研究科	修士課程	資源生命科学専攻	コース	食品科学, 分子生命科学			
		生物環境科学専攻		生物生産科学, 環境生態科学			
連合農学研究科	博士課程	生物生産科学専攻	講座	植物生産利用学, 動物生産利用学, 経営管理学			
		生物環境科学専攻		環境整備学, 生物環境管理学			
		生物資源科学専攻		生物資源利用学, スマートマテリアル科学, 生物機能制御学			
連合獣医学研究科	博士課程	獣医学専攻	講座	基礎獣医学, 病態獣医学, 応用獣医学, 臨床獣医学			
連合創薬医療情報研究科	博士課程	創薬科学専攻	領域	生命分子科学, システム生命工学			
		医療情報学専攻		生命情報, 生体制御			

## 図書館

平成 22 年 4 月 1 日現在

蔵書数						
区分	図書 (冊)			雑誌 (種)		
	和書	洋書	計	和雑誌	洋雑誌	計
図書館	522,709	211,081	733,790	9,261	3,829	13,090
医学図書館	70,482	82,635	153,117	1,325	1,794	3,119

開館時間・休館日							
区分	月～金曜日	土曜日	日、祝日(試験期間のみ)	休館日			
				日曜日、祝日*1)	年末年始(12.28～1.4)	館内整理日(第2火曜日)*2)	各季休業期間及び3月の一部土曜日
図書館	9:00～21:30	10:00～18:00	10:00～18:00	日曜日、祝日*1)	年末年始(12.28～1.4)	館内整理日(第2火曜日)*2)	各季休業期間及び3月の一部土曜日
医学図書館	8:30～20:00	10:00～18:00		日曜日、祝日	年末年始(12.28～1.4)	館内整理日(第2火曜日)	

備考 各季休業中及び3月は閉館時間を変更する場合がある。 \*1)試験期間を除く。 \*2)7月、10月、1月及び2月を除く。

利用状況 (平成 21 年度)					
区分		教職員	学生	学外者	計
入館者数(人)	図書館	5,190	155,929	1,911	163,030
	医学図書館	6,499	42,632	513	49,644
	計	11,689	198,561	2,424	212,674
貸出冊数(冊)	図書館	3,362	38,381	568	42,311
	医学図書館	904	9,761	0	10,665
	計	4,266	48,142	568	52,976
文献複写数(件)	図書館	10,416		6,006	16,422
	医学図書館	7,129		1,891	9,020
	計	17,545		7,897	25,442



備考 開館日数 図書館：282日、医学図書館：277日

コレクション名	摘要
静嘉堂文庫所蔵国語学資料集成	国語学関係の写本・版本・活字本(明治時代) 472点、769冊のマイクロフィルム版
静嘉堂文庫所蔵歌学資料集成	和歌および連歌俳諧などの古典籍資料 1,333点、3,192冊のマイクロフィルム版
大東急記念文庫所蔵江戸文学総瞰	江戸文学 878点、1,530冊の原本のマイクロフィルム版
大東急記念文庫所蔵古写古版物語文学総瞰	古物語、説話物語、歴史物語などの物語文学 95点、695冊のマイクロフィルム版
環境問題研究コレクション	世界各地の環境問題研究の文献 雑誌 19点、叢書 26点、図書 200冊のコレクション
明治・大正・昭和期教育関係新聞雑誌完全復刻版コレクション	明治・大正・昭和の教育関係新聞雑誌の完全復刻版コレクション
Landolt-Börnstein 数値表 第1群 原子核・素粒子物理学	原子核・素粒子物理学に関する数値表
ウェブスター：アメリカ英語辞書コレクション	ウェブスター辞書の1806年の初版本から1943年までに刊行された辞書の異版 100点、108冊の英語辞書コレクション
特別資料(貴重書)	本学の前身である岐阜師範学校、岐阜高等農林学校、県立医科大学当時に収集された江戸、明治時代の和本及び中国の漢籍を中心に約1,500点を特別資料庫に収蔵



大東急記念文庫所蔵  
マイクロフィルム版の一部



ウェブスター：アメリカ英語辞書  
コレクションの一部



貴重書の一部  
奈良絵本「小しきぶ」2冊

# 医学部附属病院

医学部附属病院は、平成 16 年 6 月に新築・移転事業が完了し、柳戸地区で開院した。

病院の第一の特色は、光通信システムによる高性能完全電子カルテ化による診療及び病院経営・管理である。完全電子カルテにより、医療の質の高度均質化、安全性と経営効率の向上及び診療がスピードアップ化している。また、この方式は、病診・病病連携において医療情報交換の迅速化と正確性が保証され、大学病院が、地域医療完結型医療システムの中心的存在として地域社会に貢献している。

第二の特色は、全診療科から専門医約 30 名と約 60 名の看護師を配置した高次救命治療センターである。診療科の壁を外した横断的診療体制の中で高次救命救急医療を行っている。

本病院は、先進医療の開発・提供と医師及び医療人の臨床研修病院の機能を備えた、地域の中核となる 21 世紀型「Intelligent Hospital」である。

平成 22 年 4 月 1 日現在

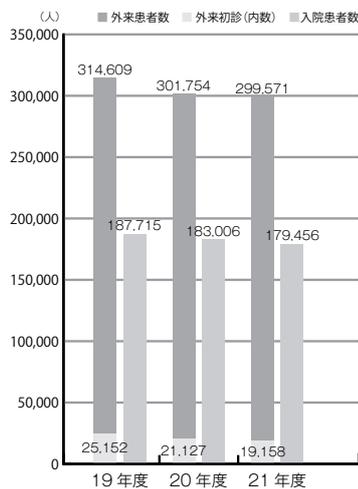
患者数 (平成 21 年度)		
入院	患者延数	179,456 人
	1 日平均患者数	491.7 人
	病床利用率	81.1%
	入院稼働日数	365 日
外来	初診患者数	19,158 人
	再診患者数	280,413 人
	計	299,571 人
	一日平均患者数	1,237.9 人
	外来診療日数	242 日

診療科及び病床数	
区 分	病床数
第 1 内科	61
第 2 内科	61
第 3 内科	24
神経内科・老年科	12
総合内科	7
第 1 外科	44
第 2 外科	38
産科婦人科	35
整形外科	38
脳神経外科	32
眼科	21
耳鼻咽喉科	32
皮膚科	20
泌尿器科	24
精神神経科	37
小児科	45
放射線科	10
麻酔科・疼痛治療科	6
歯科口腔外科	11
高次救命治療センター	24
ICU	6
共通	18
計	606



医学部附属病院

## 患者数の推移



## 中央診療施設等

検査部	光学医療診療部	分娩部
手術部	高次救命治療センター	医療機器センター
放射線部	医療連携センター	高次画像診断センター
材料部	生体支援センター	治験管理センター
輸血部	がんセンター	NICU 設置準備室
病理部	エイズ対策推進センター	栄養管理室
総合診療部	肝疾患診療支援センター	
医療情報部	リハビリテーション部	

## 薬 剤 部

## 看 護 部

## 危機管理室

## 医療安全管理室

## 卒後臨床研修センター

## 内視鏡外科手術トレーニングセンター

## 応用生物学部附属動物病院

応用生物学部附属動物病院は、獣医学の教育・研究・診療を実践する中部地区で唯一の施設である。近年の診療件数の増加に対応するため、またペットオーナーの求める高度な動物医療を提供するため、平成22年4月に新病棟とリニアック棟を増築した。

新病棟は個室型の診察室、脳外科手術にも対応できる陽圧手術室、集中治療室などを備え、画像診断装置など最新の医療設備と電子カルテを導入した先進施設である。また、リニアック棟には国立大学では初めてとなる高エネルギー型放射線治療器を導入した。

本院の特色は、伴侶動物を診療する内科、外科、腫瘍科と産業動物を診療する臨床繁殖科を設置していることである。内科、外科、腫瘍科には東海地区をはじめ近畿、北陸地区の個人病院から年間約7000件の症例が紹介されてくる。一方、臨床繁殖科は年間約400件の牛を診療するなど、岐阜地区における産業動物診療の一翼を担っている。



### 施設概要

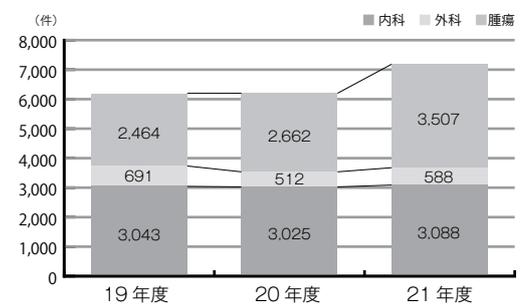
平成22年4月1日現在

名称	床面積 (㎡)	主な施設
新病棟	911	1階：診察室（7室）、超音波検査室、処置室、第1検査室、薬室、受付事務室
		2階：陽圧手術室、一般手術室（3手術台）、手術準備室、集中治療室、回復室、仮眠室（2室）
リニアック棟	192	高エネルギー型放射線治療室、操作室
本館（1階）	438	内視鏡・腹腔鏡検査室、歯科診療室、X線・画像解析室、第2検査室、相談室・病院長室、産業動物診療室
本館（2階）	68	遺伝子検査室、スタッフ室
CT棟	47	X線CT撮影室、操作室
入院棟	260	入院室（犬用）、入院室（猫用）、供血動物室（犬・猫）、ポリクリ診療室、ミーティング室
合計	1,916	

### 動物種類別の診療件数（延べ）

年度	伴侶動物（件数）				産業動物（件数）					総計
	犬	猫	その他	計	牛	馬	豚	緋・山羊	計	
19	5,904	897	18	6,819	422	1	1	1	425	7,244
20	5,707	829	16	6,552	286	2	1	0	289	6,841
21	6,235	945	2	7,182	404	4	0	1	409	7,591

### 内科・外科・腫瘍科の診療件数（延べ）の推移



## 全国共同利用施設

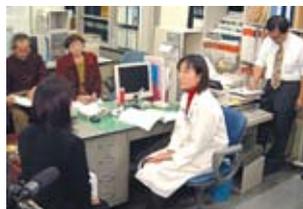
### 医学部医学教育開発研究センター

医学教育に貢献できる人材育成と国内外の医学教育機関との連携・共同研究を推進する。2010年4月には全国唯一の「医学教育共同利用拠点」として文部科学省から認定された。

チュートリアル部門では少人数能動型の問題基盤型学習（PBL）の普及・改善に取り組み、バーチャルスキル部門では、模擬患者参加型のコミュニケーション教育・シミュレーション教育の開発に取り組んでいる。アウトカム基盤型医学教育、コンピュータ支援学習、ポートフォリオ評価システム、国際交流と医療英語教育にも力を入れている。毎年4回開催する「医学教育セミナーとワークショップ」は全国規模の教員養成プログラムとして高く評価されている。[チュートリアル部門、バーチャルスキル部門]



チュートリアル教育



模擬患者実習



医学教育ワークショップ



スキルスラゴ実習

# 学内共同教育研究施設等

## 教養教育推進センター

「人文、社会、自然などについての幅広い知見」の育成のため、すべての学部教員がすべての学生に対して行う教養教育に関し、教材研究・開発、授業編成、点検・評価等の総合的推進を図る。



教養教育推進センター

## 流域圏科学研究センター

流域圏における森林・草原植生系、河川・水系及び土壌・地盤系の多様な自然科学的事象、並びに、人為的影響の解明に関する学術研究の遂行と成果の実際への貢献を目的として、「衛星生態学創生拠点」や「流域水環境リーダー育成拠点」の形成を強力に推進し、同時に、安全安心で豊かな自然環境を有する地域づくりに寄与する。



流域圏科学研究センター

## 生命科学総合研究支援センター

ゲノム・プロテオーム解析や遺伝子組換え、ナノテクノロジー、放射性同位元素を用いた技術、大型分析機器を用い、生命科学に関連する先進的分野の教育研究を行うとともに放射性同位元素、実験動物、大型分析機器の管理など、学内の研究を推進・支援する。

[ゲノム研究分野、嫌気性菌研究分野、動物実験分野、機器分析分野、RI 管理室]



ゲノム研究分野棟

## 総合情報メディアセンター

学内情報ネットワークシステムの整備及び情報関連設備の学内への提供等を行うとともに、情報メディアの活用、e-Learning システム、地域連携システム等の開発研究を行い、本学における教育・研究・業務の高度情報化の総合的な推進を図る。

[高度情報システム開発研究部門、情報メディア開発研究部門、カリキュラム開発研究部門、生涯学習システム開発研究部門、情報システム管理部門]



総合情報メディアセンター A 館

## 留学生センター

外国人留学生に対する日本語・日本事情その他修学上に必要な教育や生活上の指導助言、海外留学を希望する学生に対する指導助言、夏期短期留学生の受入れ及び派遣の企画・運営など学生の国際交流推進に関する業務を行う。



留学生センター

## 保健管理センター

学生及び職員の健康増進、並びに学生の安全衛生環境保持・改善を図ることを主な目的とし、学内の保健計画の立案・実践について指導援助している。学生の健康診断の実施とそれに基づく生涯の健康を守るための保健指導、就学支援、救急処置、健康相談、健康啓発活動と、その業務は多彩である。

また、学生の健康に関する調査・研究を行い、学内の施策提言につなげているほか、県内の各大学と協働し、その中核として大学生の健康管理に関する研究会を推し進め、地域貢献を担っている。



保健管理センター

## 宇宙電波観測所

電波天文学及び測地学の研究と技術開発の推進に資することを目的としている。主要設備である直径 11 m の電波望遠鏡は、国内外の電波望遠鏡との共同観測により、ブラックホール近傍の詳細な電波構造の解析ができるようになるとともに、大陸間の距離を数ミリメートルの精度で計測することが可能である。本学の教育・研究への貢献はもとより、東海地区の地殻変動の測地基準点として、地域への貢献も期待されている。



11m 電波望遠鏡

## 特色ある教育改革の取り組み

文部科学省では、大学改革の取組が一層推進されるよう、各大学などでの教育改革の取組を選定、支援している。  
岐阜大学では、各種プログラムに積極的に応募し、採択されている。

### 教育改革プロジェクト (GP)

年度	プログラム名	拠点／実施部局等
<b>特色ある大学教育支援プログラム(特色 GP)</b>		
平成 15～18 年度	能動・思考促進型を柱とする全人的医学教育	医学部
平成 16～19 年度	地域・大学共生型教師教育システム	教育学部
<b>現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代 GP)</b>		
平成 16～18 年度	地域協学型の風土保全教育プログラム ーぎふ公民館大学ー	応用生物科学部, 地域科学部
平成 16～18 年度	教師のための遠隔大学院カリキュラムの開発	教育学部
平成 19～21 年度	臨床医学教育を強化向上させる ICT ー e-Learning で培う医の心と技ー	医学部医学教育開発研究センター
<b>資質の高い教員養成推進プログラム(教員養成 GP)</b>		
平成 18～19 年度	教育臨床実習重視の教師発達支援プログラム	教育学部
<b>新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム(学生支援 GP)</b>		
平成 19～22 年度	生涯健康を目指した学生健康支援プログラム	保健管理センター
<p>自らの健康を管理するための知識や実践力を習得することは、生涯にわたる健康の礎となる。本プログラムは、在学時における軽微な健康障害の改善と学生の健康増進を支援することにより、将来の重篤な健康障害を防ぐことを目的としている。禁煙教育の充実、総合的な学生相談窓口「学生ラウンジ」の設置等、「生涯健康教育」の推進にむけて、保健管理センターを中心に全学的なネットワークによる健康支援体制をさらに充実させていく取組である。</p>		
<b>大学院教育改革支援プログラム(大学院 GP)</b>		
平成 20～22 年度	グローバル化に向けた実践獣医学教育の推進	大学院連合獣医学研究科
<p>現在、獣医学研究者の資質として強く求められているのは、深い洞察力と危機予測能力、粘り強い学習能力、国際的な即応力である。特に、感染症、食の安全性、産業動物と家畜衛生、伴侶動物医療の高度化は、獣医学領域で社会的要請が強い項目である。本プログラムでは、科学英語教育を充実させて4つの構成大学(岐阜大学、帯広畜産大学、岩手大学、東京農工大学)及び附属研究センターと3つの連携機関(国立感染症研究所、国立医薬品食品衛生研究所、(独)動物衛生研究所)を活用し、実践的な獣医学教育を行う。21世紀 COE プログラムで築いた東南アジアの大学(タイ・カセサート大学、インドネシア・ガジャマダ大学やボゴール農科大学など)との共同研究で感染症や食の安全性について現状を実体験させる。また、欧米の獣医科大学で先進的な獣医臨床教育を体験させる。</p>		

大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム		
年 度	プログラム名	拠 点
平成 20 ～ 22 年度	国際的視点に立つ創業者養成のための実践的な教育研究システム	岐阜大学, 岐阜薬科大学
<p>この取組は、岐阜大学と岐阜薬科大学との連合大学院(大学院連合創薬医療情報研究科(後期3年だけの博士課程))における人材育成をより高度に実現し、岐阜地域での生命科学研究拠点を狙うため、博士前期課程(修士課程)との連携を推進する取組である。具体的には、1. 先進的かつ国際的視点に立つ生命創薬科学に関する講義及び実践的演習の履修、2. 国際競争力の獲得のための実践英語力の習得、が可能なコース制を導入し、博士前期課程(修士課程)で研究基礎を修得できるシステムを確立する。同時に、既存カリキュラムの実習内容の見直しを行い、優れた人材を輩出する。この人材と連携のネットワークの活用、関連企業等との共同研究により、岐阜地域での生命科学研究拠点形成を目指すものである。</p>		
平成 21 年度～ 23 年度	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜を基盤とした駅前サテライト型教育システムの構築	岐阜大学, 岐阜県内 16 大学等
<p>このプログラムは、岐阜大学を代表校とし、岐阜県内 16 大学等と積極的な連携を推進し、各校における教育研究資源を有効活用することにより当該地域の知の拠点として、教育研究水準のさらなる高度化、教育活動の質保証、個性・特色の明確化に伴う機能別分化の促進と相互補完、大学運営基盤の強化等とともに、地域と一体となった人材育成の推進を図ることを目的としている。具体的には、これまでに築いてきたコンソーシアムの連携実績を基にして、連携事業(単位互換事業、共同授業事業(生涯学習支援)、高大連携事業、教員免許更新講習事業、広報事業等)を拡充するとともに、新たに利便性の高い岐阜駅前サテライトを設置し、ここを基盤とする運営体制を整備して大学及び地域における教育活動の活性化を促進する。</p>		
平成 21 年度～ 23 年度	獣医・動物医科学系教育コンソーシアムによる社会の安全・安心に貢献する人材の育成	鳥取大学, 岐阜大学, 京都産業大学
<p>本プログラムは、鳥取大学を代表校とし、岐阜大学及び京都産業大学が連携して、社会科学系分野を加えた3大学連携の獣医・動物医科学系コンソーシアムを構築し、獣医学、環境保全学及び社会科学の融合をはかり、社会の安全・安心に貢献しうる新しい教育体系の創成を目指す。具体的には、遠隔講義システムを利用した連携により構築された講義を各大学で同時・双方向的に行い、さらに教員及び学生の移動により講義・実習・演習等を実施していく。この新しい教育を通じ、緊急度及び社会的ニーズが高い野生動物や家畜を起因とする人獣共通感染症等の社会不安を解消する能力を有する高度職業人の養成を目指す。</p>		

## 科学技術振興調整費

文部科学省は、総合科学技術会議の方針に沿って科学技術の振興に必要な重要事項の総合推進調整を行うための経費として支援しており、岐阜大学では、各種プロジェクトに積極的に応募し、採択されている。

年 度	課 題 名
<b>戦略的環境リーダ一育成拠点形成</b>	
平成 21 年度～ 25 年度	岐阜大学流域水環境リーダ一育成拠点形成
<p>工学研究科社会基盤工学専攻と環境エネルギーシステム専攻、応用生物科学研究科生物環境科学専攻、流域圏科学研究センターおよび地域科学研究科等の部局が有機に連携し、既存のカリキュラムに新しいカリキュラムを組み合わせた特色のある教育プログラム、留学生支援体制、国内外の実務経験者を迎えた教育研究指導体制のもと、発展途上国が直面する水質・水資源・農業灌漑用水・生態などの極めて深刻である流域水環境分野の問題を多角的な視野で的確に理解し、戦略的な解決策と発生防止策を設計・施行する環境リーダ一(国内リーダ一と国外リーダ一)を育成するものである。</p>	

### 女性研究者支援モデル育成

平成 22 年度～ 24 年度	多様性活力発揮に向けての女性研究者支援
-----------------	---------------------

本事業は、岐阜大学の多様性活力発揮に向けてのプログラムである。男女共同参画推進室が中心となって、次の取組みを行う。① 教職員の意識改革としての啓発・広報事業の実施 ② 女子学生の研究職就業支援としてのロールモデル提示、研究者との交流拠点「カモミール・カフェ」の運用、小中高等学校での女子学生出前講義の実施 ③ 出産・育児・介護等支援のための研究支援者配置、メンター制度実施、休憩室整備、保育園充実、テレワークシステム試行運用による女性研究者支援 ④ 人的資源循環をめざした岐阜県・岐阜労働局・NPO等と協働での女性研究者人財バンク充実、研究中断者の再チャレンジ支援

以上の取組みを通して、女性研究者、女性リーダーを増やすとともに、大学および地域の活性化を目指す。

### イノベーション創出若手人材養成

平成 22 年度～ 26 年度	産業牽引型イノベーション創出若手人材養成
-----------------	----------------------

飛騨・美濃・尾張地域の新産業の牽引に必要な、マネジメント力、コミュニケーション力、協調性、創造性に富み、国際的な広い視野と実社会のニーズを踏まえた発想を身につけた人材の養成を目的とするものである。「岐阜大学イノベーション創出若手人材養成センター」を設置し、情報を一元的に統括し、教育プログラムの策定・運用を行う。

実践プログラムとして、学内外から公募した若手研究者（毎年 24 名程度）にイノベーションスキルプログラム（アイデアトレーニングキャンプ、エンライトメント・レクチャー、ビジネス英語）を行った後、海外派遣する。

## 理数系教員(コア・サイエンス・ティーチャー)養成拠点構築事業

(独)科学技術振興機構が公募した「理数系教員(コア・サイエンス・ティーチャー)養成拠点構築事業」について、本学が採択された。

年 度	プログラム名	拠 点
平成 21 年度～ 24 年度	教育委員会と大学理工学部群が連携した自律的成長プログラムによる CST の養成	岐阜大学、岐阜県教育委員会

本学と岐阜県教育委員会が連携して CST 養成拠点を構築し、小中学校の理科教育において中核的に活動できる人材（CST）を持続的に養成する。

CST は、学部生を対象とした「初級コースプログラム」に加え、学校での理科教育実践を積んだ若手理科教員対象の「中級コースプログラム」、さらに即戦力として地域で理科教育の指導を行うことができる「上級コースプログラム」を設置し、優れた授業実践を踏まえた実践論文作成指導を繰り返すことで、教員が自律的に成長するしくみを組み込んだプログラムを実現させる。

## 体系的な社会人基礎力育成・評価システム開発・実証事業

経済産業省が公募した「体系的な社会人基礎力育成・評価システム開発・実証事業」について、平成 21 年度の委託先として本学が採択された。

年 度	事業名称
平成 21 年度	全学的な社会人基礎力育成をめざす教育システムの開発

# 学生数

## 学部学生

平成22年5月1日現在 (人)

学 部	入 学 定 員	3年次 編入学	現 員						計
			1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	
教育学部	250		266 (161)	262 (160)	265 (173)	294 (175)			1,087 (669)
地域科学部	100	10	107 (70) 2 (2)	110 (64) 2 (2)	116 (70) 3 (3)	127 (72) 1 (0)			460 (276) 8 (7)
医 学 部	医学科	107	113 (27)	106 (23)	88 (25)	71 (14)	79 (19)	89 (34)	546 (142)
	看護学科	80	87 (82)	81 (78)	90 (85)	85 (80)		2 (1)	343 (325) 0 (0)
工 学 部	510	30	567 (66) 10 (4)	552 (70) 11 (3)	608 (79) 13 (2)	750 (84) 13 (5)			2,477 (299) 47 (14)
応用生物科学部	食品生命科学課程 生産環境科学課程	160	168 (106)	171 (100)	170 (87)	184 (102)			693 (395) 0 (0)
	獣医学課程	25	27 (17)	28 (15)	35 (20)	36 (15)	33 (20)	32 (19)	191 (106) 0 (0)
学部学生 合計	1,232	65	1,335 (529) 12 (6)	1,310 (510) 14 (6)	1,372 (539) 19 (8)	1,547 (542) 14 (5)	112 (39) 0	121 (53) 2 (1)	5,797 (2,212) 61 (26)

現員には外国人留学生を含み、( )内は女子の内数。下段は外国人留学生を内数で示す。

## 大学院生

### 教職大学院課程

平成22年5月1日現在 (人)

研 究 科	課 程	入 学 定 員	現 員			計	学 位 名
			1年次	2年次			
教育学研究科	教職大学院課程	20	24 (7)	21 (8)		45 (15) 0 (0)	教職修士(専門職)

### 修士課程, 博士前期課程

(人)

研 究 科	課 程	入 学 定 員	現 員			計	学 位 名
			1年次	2年次			
教育学研究科	修士課程	49	45 (21)	62 (35)		107 (56)	修士(教育学)
			2 (1)	5 (3)		7 (4)	
地域科学研究科	修士課程	20	16 (10)	29 (16)		45 (26)	修士(地域科学)
			8 (7)	18 (12)		26 (19)	
医学系研究科	修士課程	8	7 (6)	25 (24)		32 (30)	修士(看護学)
	博士前期課程	11	16 (5)	12 (1)		28 (6) 0 (0)	修士(再生医科学)
工学研究科	博士前期課程	275	367 (41)	299 (23)		666 (64)	修士(工学)
			29 (12)	14 (3)		43 (15)	
応用生物科学研究科	修士課程	89	103 (46)	95 (42)		198 (88)	修士(応用生物学)*1
			15 (9)	14 (8)		29 (17)	

### 博士課程, 博士後期課程, 後期3年のみの博士課程

(人)

研 究 科	課 程	入 学 定 員	現 員						計	学 位 名
			1年次	2年次	3年次	4年次				
医学系研究科*2	博士課程	47	30 (9)	30 (6)	40 (4)	69 (14)		169 (33)	博士(医学)	
	博士後期課程	6	10 (4)	3 (1)	38 (6)	4 (2)		10 (3) 51 (11) 6 (2)		
工学研究科	博士後期課程	27	21 (3)	25 (4)	36 (5)			82 (12)	博士(工学)	
			10 (2)	8 (3)	8 (3)			26 (8)		
連合農学研究科	後期3年のみの 博士課程	20	21 (7)	24 (7)	51 (17)			96 (31)	博士(農学)	
			13 (6)	12 (5)	19 (8)			44 (19)		
連合獣医学研究科	博士課程	20	32 (13)	26 (8)	29 (11)	33 (12)		120 (44)	博士(獣医学)	
			11 (3)	4 (1)	6 (3)	8 (3)		29 (10)		
連合創薬医療情報 研究科	後期3年のみの 博士課程	6	3 (2)	9 (1)	15 (2)			27 (5)	博士(工学又は 医科学又は薬科学)	
			1 (1)	2 (0)	1 (0)			4 (1)		

大学院生 合計	598						1,666 (421) 224 (98)	
---------	-----	--	--	--	--	--	-------------------------	--

現員には外国人留学生を含み、( )内は女子の内数。下段は外国人留学生を内数で示す。 \*1 応用生物科学研究科の現員には、改組前の農学研究科(学位は修士(農学))の在籍者を含む。 \*2 医学系研究科の現員には、改組前の医学研究科の在籍者を含む。

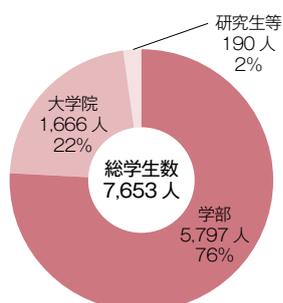
## 研究生・科目等履修生・聴講生等

平成22年5月1日現在(人)

部 局 等	研 究 生	特 別 研 究 学 生	科 目 等 履 修 生	聴 講 生	特 別 聴 講 生 学 生	現 職 教 育 内 地 留 学 生	日 本 語 研 修 留 学 生	日 本 語 ・ 日 本 文 化 研 修 留 学 生	計
教育学部	5 (3)		3	2	1 (1)				11 (4)
地域科学部	9 (9)			5	4 (4)				18 (13)
医学部	44 (2)			1					45 (2)
工学部	16 (5)				3 (3)				19 (8)
応用生物科学部	7 (7)		1						8 (7)
教育学研究科	2 (2)		2	1					5 (2)
地域科学研究科									
医学系研究科		4							4
工学研究科	2 (2)	1 (1)			4				7 (3)
応用生物科学研究科	5 (1)	1 (1)							6 (2)
連合農学研究科									
連合獣医学研究科									
連合創薬医療情報研究科					2 (2)				2 (2)
流域圏科学研究センター	1 (1)								1 (1)
総合情報メディアセンター						2			2
留学生センター					10 (10)		7 (7)		17 (17)
教養教育推進センター			1						1
ネットワーク大学コンソーシアム岐阜*					44				44
合 計	91 (32)	6 (2)	7	9	68 (20)	2		7 (7)	190 (61)

\*ネットワーク大学コンソーシアム岐阜とは、岐阜県と県内17大学等からなる大学連合。学生は、単位互換制度のもとに他大学の授業を受講し、単位を修得すれば自校の単位として認定される。〈 〉内は外国人留学生を内数で示す。

## 総学生数



## 附属学校

平成22年5月1日現在(人)

学 校 名	学 級 別	学 級	入 学 定 員	現 員
教育学部附属小学校	通常学級	18	120	715
	特別支援学級	3	若干名	15
教育学部附属中学校	通常学級	12	160	479
	特別支援学級	3	8	22
合 計				1,231

# 入学状況

## 学部

平成22年度(人)

学 部	募集人員	志願者数			入学者数			
		男	女	計	男	女	計	
教育学部	250	881	1,056	1,937	105	161	266	
地域科学部	100	252	311	563	37	68	105	
医学部	医 学 科	107	2,575	881	3,456	81	26	107
	看護学科	80	29	335	364	5	75	80
工学部	510	2,619	386	3,005	485	61	546	
応用生物科学部	食品生命科学課程 生産環境科学課程	160	264	402	666	62	106	168
	獣医学課程	25	62	85	147	10	17	27
合 計	1,232	6,682	3,456	10,138	785	514	1,299	

私費外国人留学生・3年次編入学者を除く。

## 大学院

平成22年度(人)

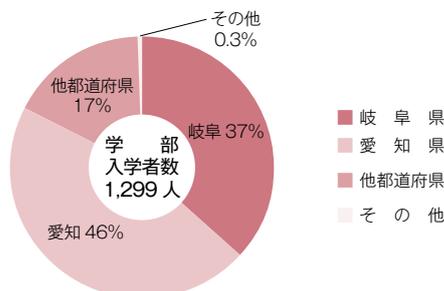
大 学 院	募集人員	志願者数			入学者数			
		男	女	計	男	女	計	
教育学研究科	教職大学院課程	20	17	8	25	17	7	24
	修士課程	49	38	44	82	24	21	45
地域科学研究科	20	8	15	23	6	10	16	
医学系研究科	修士課程	8	4	6	10	1	6	7
	博士課程	47	24	11	35	21	9	30
	博士前期課程	11	13	5	18	11	5	16
	博士後期課程	6	6	4	10	6	4	10
工学研究科	博士前期課程	275	424	53	477	326	41	367
	博士後期課程	27	19	3	22	16	3	19
応用生物科学研究科	89	90	56	146	57	46	103	
連合農学研究科	20	17	6	23	14	6	20	
連合獣医学研究科	20	18	12	30	13	10	23	
連合創薬医療情報研究科	6	2	2	4	1	2	3	
合 計	598	680	225	905	513	170	683	

## 出身高校等の所在地別入学状況(学部)

平成22年度(人)

学 部	岐 阜 県	愛 知 県	三 重 県	静 岡 県	滋 賀 県	兵 庫 県	福 井 県	東 京 都	大 阪 府	富 山 県	他 都 道 府 県	* 其 他	計
教育学部	166	78	2	4	2	2	3				8	1	266
地域科学部	51	42	4		1		3				3	1	105
医学部	75	62	2	1		5		9	7	2	22	2	187
工学部	147	338	17	10	6	4	5		1	4	14	0	546
応用生物科学部	46	77	6	12	5	2	1	2	3	3	38	0	195
合 計	485	597	31	27	14	13	12	11	11	9	85	4	1,299

私費外国人留学生等(定員外)を除く。 \*高等学校卒業程度認定試験・外国の学校。



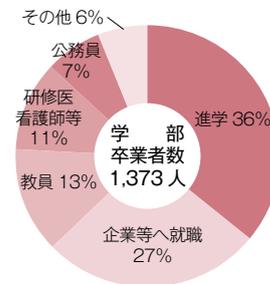
## 学部卒業生数・進路状況

### 学部卒業生数

学部名		平成21年度	累計
教育学部		288	16,161
地域科学部		113	1,127
医学部		162	3,832
工学部	昼間コース	581	19,236
	夜間主コース	28	842
応用生物科学部*		201	11,530
計		1,373	52,728

\*農学部卒業生を含む。

卒業生進路状況



### 平成21年度卒業生進路状況

#### 進路状況

平成22年5月1日現在 (人)

区分	学部名		医学部		工学部		応用生物科学部*	計
	教育学部	地域科学部	医学科	看護学科	昼間コース	夜間コース		
卒業生数	288 (193)	113 (80)	78 (30)	84 (79)	581 (76)	28 (1)	201 (103)	1,373 (562)
進学者数	37 (17)	7 (3)		2 (1)	349 (39)	5	89 (38)	489 (98)
就職者数	240 (168)	97 (73)		79 (75)	199 (30)	12	97 (60)	724 (406)
社会人学生で現職に留まる者	1 (1)					6		7 (1)
臨床研修医			75 (30)					75 (30)
その他	10 (7)	9 (4)	3	3 (3)	33 (7)	5 (1)	15 (5)	78 (27)

#### 産業別状況

(人)

産業分類	学部名		医学部		工学部		応用生物科学部*	計
	教育学部	地域科学部	医学科	看護学科	昼間コース	夜間コース		
農業、林業、漁業					2 (1)		5 (4)	7 (5)
鉱業、採石業、砂利採取業								0 (0)
建設業		1 (1)			17			18 (1)
製造業	6 (6)	12 (12)			90 (13)	6	30 (19)	144 (50)
電気・ガス・熱供給・水道業					8 (1)	1		9 (1)
情報通信業	5 (5)	8 (6)			27 (6)	3	2	45 (17)
運輸業、郵便業	2 (1)	4 (1)			6 (1)	1	1 (1)	14 (4)
卸売業・小売業	11 (8)	9 (8)			2 (1)		6 (4)	28 (21)
金融業・保険業	9 (7)	23 (19)			1 (1)		1	34 (27)
不動産取引・賃貸・管理業								0 (0)
学術研究、専門・技術サービス業					2	1	14 (6)	17 (6)
宿泊業、飲食サービス業	2 (1)	2 (2)			1		2 (1)	7 (4)
生活関連サービス業、娯楽業	2 (2)	1 (1)			3			6 (3)
学校教育	174 (119)				2 (1)	3	4 (2)	183 (122)
その他の教育・学習支援業	9 (5)	1			2 (1)		1 (1)	13 (7)
医療業・保健衛生	2 (1)			79 (75)				81 (76)
社会保険・社会福祉・介護事業	3 (3)	4 (2)						7 (5)
複合サービス事業		4 (3)			2 (1)		3 (2)	9 (6)
宗教、その他のサービス業		4 (3)			1		4 (3)	9 (6)
国家公務	1				3	1	3 (1)	8 (1)
地方公務	15 (11)	24 (15)			24 (2)	1	19 (14)	83 (42)
その他					6 (1)	1	2 (2)	9 (3)
計	241 (169)	97 (73)	0 (0)	79 (75)	199 (30)	18 (0)	97 (60)	731 (407)

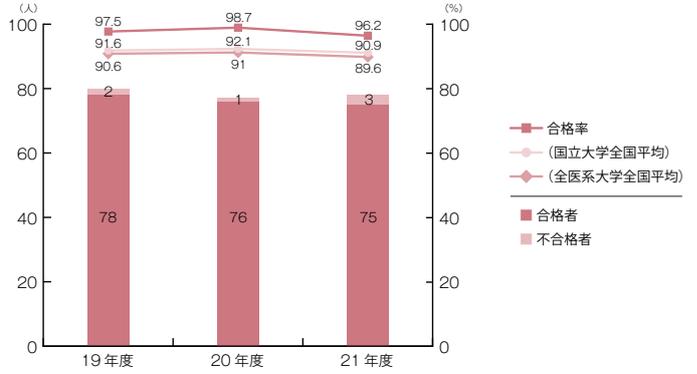
( ) 内は女子を内数で示す。 \*農学部卒業生を含む。

# 国家試験合格状況・教員採用状況

## 医師国家試験合格状況

	19年度	20年度	21年度
受験者数	80	77	78
合格者数	78	76	75
不合格者数	2	1	3
合格率	97.5%	98.7%	96.2%
(国立大学全国平均)	95.1%	95.6%	94.0%
(全医系大学全国平均)	94.4%	94.8%	93.0%

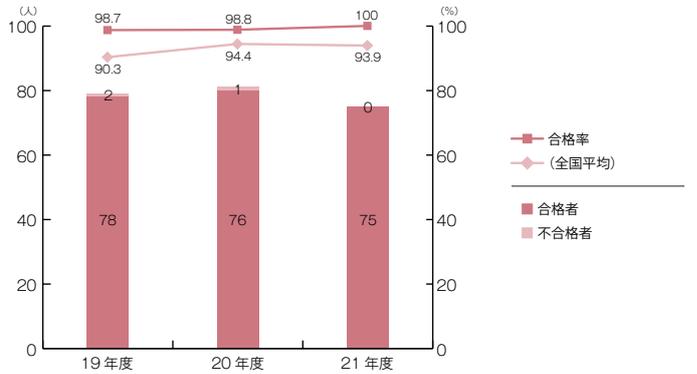
\*新卒者のみ



## 看護師国家試験合格状況

	19年度	20年度	21年度
受験者数	79	81	75
合格者数	78	80	75
不合格者数	1	1	0
合格率	98.7%	98.8%	100.0%
(全国平均)	90.3%	94.4%	93.9%

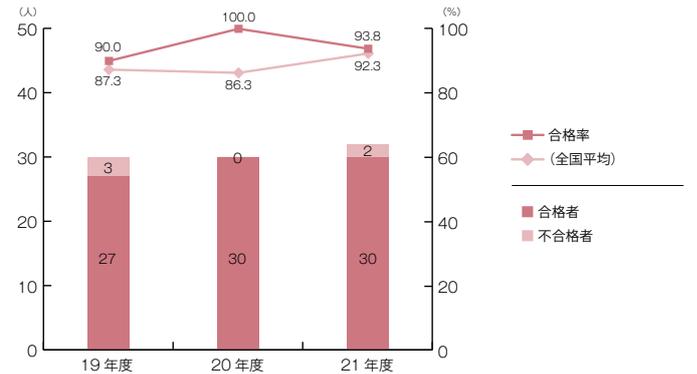
\*新卒者のみ



## 獣医師国家試験合格状況

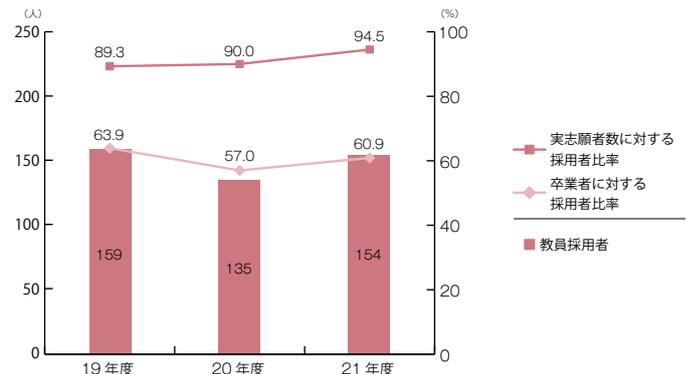
	19年度	20年度	21年度
受験者数	30	30	32
合格者数	27	30	30
不合格者数	3	0	2
合格率	90.0%	100.0%	93.8%
(全国平均)	87.3%	86.3%	92.3%

\*新卒者のみ



## 教員採用率 (教育学部)

	19年度	20年度	21年度
卒業生数	249	237	253
教員実志願者数	178	150	163
教員採用者数	159	135	154
(うち臨時採用者数)	64	50	60
志願者数に対する採用者比率	89.3%	90.0%	94.5%
卒業生に対する採用者比率	63.9%	57.0%	60.9%

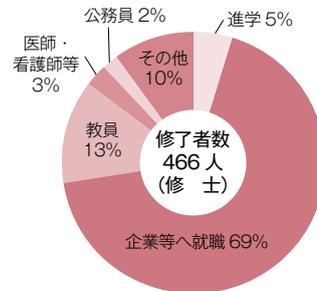


## 大学院修了者数・進路状況

### 学位授与者数（修士）

修士	平成21年度	累計
教育学	72	865
地域科学	10	168
再生医科学	13	112
看護学	8	24
工学	268	5,418
応用生物科学	95	2,180
計	466	8,767

### 修士・博士前期課程修了者進路状況



### 平成21年度修了者進路状況（修士・博士前期課程）

#### 進路状況

平成22年5月1日現在（人）

区分	研究科名								計
	教育学研究科 修士課程	教育学研究科 専門職学位課程	地域科学研究科 修士課程	医学系研究科 修士課程	医学系研究科 博士前期課程	工学研究科 博士前期課程	応用生物科学研究科 修士課程		
修了者数	51 (30)	21 (1)	10 (6)	8 (8)	13 (2)	268 (25)	95 (39)	466 (111)	
進学者数	1		1 (1)		1 (1)	10 (1)	11 (2)	24 (5)	
就職者数	19 (10)	7 (1)	2 (1)	2 (2)	10 (1)	239 (21)	68 (29)	347 (65)	
社会人学生（現職に留まる者）	17 (12)	14	4 (1)	6 (6)		7		48 (19)	
その他	14 (8)		3 (3)		2	12 (3)	16 (8)	47 (22)	

#### 産業別状況

産業分類	研究科名								計
	教育学研究科 修士課程	教育学研究科 専門職学位課程	地域科学研究科 修士課程	医学系研究科 修士課程	医学系研究科 博士前期課程	工学研究科 博士前期課程	応用生物科学研究科 修士課程		
農業、林業、漁業							8 (2)	8 (2)	
鉱業、採石業、砂利採取業								0 (0)	
建設業						15	1	16 (0)	
製造業	1 (1)			1 (1)	3 (1)	169 (14)	32 (15)	206 (32)	
電気・ガス・熱供給・水道業						13 (3)		13 (3)	
情報通信業					7	23 (2)	2 (2)	32 (4)	
運輸業、郵便業			1			10 (1)		11 (1)	
卸売業・小売業	1 (1)					1 (0)	6 (1)	8 (2)	
金融業・保険業							1 (1)	1 (1)	
不動産取引・賃貸・管理業								0 (0)	
学術研究、専門・技術サービス業			1			7	4 (3)	12 (3)	
宿泊業、飲食サービス業							1 (1)	1 (1)	
生活関連サービス業、娯楽業								0 (0)	
学校教育	33 (19)	18 (1)	1 (1)	3 (3)		1	4 (1)	60 (25)	
その他の教育・学習支援業	1 (1)	2						3 (1)	
医療業・保健衛生				3 (3)			2 (1)	5 (4)	
社会保険・社会福祉・介護事業			1	1 (1)				2 (1)	
複合サービス事業						1		1 (0)	
宗教、その他のサービス業			1				1	2 (0)	
国家公務							3 (1)	3 (1)	
地方公務		1	1 (1)			5	1	8 (1)	
その他						1 (1)	2 (1)	3 (2)	
計	36 (22)	21 (1)	6 (2)	8 (8)	10 (1)	246 (21)	68 (29)	395 (84)	

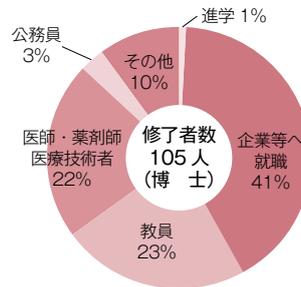
（ ）内は、女子を内数で示す。修了者数には単位修得退学者を含む。医学系研究科には、医学研究科を含む。応用生物科学研究科には、農学研究科を含む。

## 学位授与者数（博士）

(人)

博 士		平成 21 年度	累 計
医 学	課程博士	27	785
	論文博士	5	1,443
再生医科学	課程博士	3	44
	論文博士	0	1
工 学	課程博士	22	393
	論文博士	1	65
農 学	課程博士	29	546
	論文博士	2	132
獣 医 学	課程博士	27	314
	論文博士	8	99
薬 科 学	課程博士	1	1
	論文博士	0	0
計		125	3,823

## 博士・博士後期課程修了者進路状況



## 平成21年度修了者進路状況（博士・博士後期課程）

### 進路状況

平成 22 年 5 月 1 日現在 (人)

区 分	研究科名	医学系研究科	医学系研究科	工学研究科	連合農学研究科	連合獣医学研究科	連合創薬医療情報研究科	計
		博士後期課程	博士課程	博士後期課程	博士課程	博士課程	博士課程	
修了者数		3	26 (5)	18 (3)	29 (10)	27 (9)	2 (1)	105 (28)
進学者数				1 (1)				1 (1)
就 職 者 数		1	11 (3)	7 (1)	20 (7)	19 (6)	1 (1)	59 (18)
社会人学生 (現職に留まる者)		2	14 (1)	7 (1)	5 (2)	5 (2)	1	34 (6)
その他			1 (1)	3	4 (1)	3 (1)		11 (3)

### 産業別状況

産業分類	研究科名	医学系研究科	医学系研究科	工学研究科	連合農学研究科	連合獣医学研究科	連合創薬医療情報研究科	計
		博士後期課程	博士課程	博士後期課程	博士課程	博士課程	博士課程	
農業、林業、漁業								0 (0)
鉱業、採石業、砂利採取業								0 (0)
建設業				4	1			5 (0)
製造業				3	1	4	1	9 (0)
電気・ガス・熱供給・水道業								0 (0)
情報通信業								0 (0)
運輸業、郵便業								0 (0)
卸売業・小売業								0 (0)
金融業・保険業				1				1 (0)
不動産取引・賃貸・管理業								0 (0)
学術研究、専門・技術サービス業				4 (1)	8 (3)	8 (3)	1 (1)	21 (8)
宿泊業、飲食サービス業								0 (0)
生活関連サービス業、娯楽業								0 (0)
学校教育			4 (2)	1 (1)	14 (6)	5 (2)		24 (11)
その他の教育・学習支援業						6 (2)		6 (2)
医療業・保健衛生		3	20 (1)	1				24 (1)
社会保険・社会福祉・介護事業								0 (0)
複合サービス事業								0 (0)
宗教、その他のサービス業								0 (0)
国家公務					1			1 (0)
地方公務			1 (1)			1 (1)		2 (2)
その他								0 (0)
計		3 (0)	25 (4)	14 (2)	25 (9)	24 (8)	2 (1)	93 (24)

( ) 内は、女子を内数で示す。修了者数には単位修得退学者を含む。医学系研究科には、医学研究科を含む。

## 学生支援施設

### 福利厚生施設等

施設名	食堂・喫茶	売店	課外活動	就職支援
大会会館	第1食堂(492席) 自動販売機コーナー 共用談話室 ルポ(ラーメン・丼 専門店)	売店、書店 現金自動預金支払機	大ホール 音楽鑑賞室 第1～第6集会室 第9～第11集会室(9,11和室)	学生ラウンジ 就職活動支援室
第2食堂	ホール(540席) コンビニコーナー(PECO)(35席)			
医学部 教育・福利棟	医学部食堂(132席)	売店、書店 生協紹介コーナー		

大会会館

### 学生寮

施設名	室数	収容定員
黒野寮 (岐阜市柳戸14番)	200(男性)	200
	75(女性)	75



黒野寮

### 体育施設・課外活動施設

施設名	施設の内容	施設名	施設の内容		
屋内体育施設	体育館	第1体育館、第2体育館 更衣室(ロッカー・シャワー)、器具庫 フィットネスルーム	体育系サークル共用施設	共用室10室(1室2サークル)、 会議室1室	
	武道場	(剣道場、柔道場)	文化系サークル共用施設	共用室10室(1室和室) (1室2～4サークル)	
	弓道場		合宿所	研修室(宿泊室と兼用)4室、 浴室、補食室	
屋外体育施設	陸上競技場	400m8コース	課外活動施設	学外合宿研究施設	宿泊室30室、ホール 談話室2室 研修医宿泊室6室
	野球場			自動車車庫	
	テニスコート	18面(クレイ12面、全天候6面)		グライダー格納庫	
	バレーボールコート	4面(全天候)		きゅう舎・馬場	
	ハンドボールコート	2面(クレイ1面、全天候1面)		アーチェリー場	
	バスケットボールコート	3面(全天候)			
	サッカー場	1面			
	ラグビー場	1面			
水泳プール	1基(50m8コース)				

# 学生サークル活動

## 課外活動団体一覧

平成 22 年 5 月 1 日現在

全学行事団体 (4 団体)
岐阜大学祭全学執行委員会
岐阜大学全学春祭実行委員会
学生企業展実行委員会
岐阜大学サークル協議会

文化系サークル (30 団体)
写真研究会
美術部
茶道部
ユースホステルクラブ
邦楽部
コーラスクラブ
漫画研究会
フォーク村
ギター・マンドリンクラブ
E.S.S
ユネスコ学生クラブ
生物科学研究会
岐阜学生放送研究会ラジスタ
ツキノワグマ研究会
将棋部
軽音楽部
管弦楽団
演劇研究会
学生生活を考える会
囲碁部
緑化研究会 (Three trees)
ロボコンサークル
落語研究会
児童文化人形劇研究会コロッポ
文芸サークル童話会
星を観る会
RYUGAKU LOVE
アコースティックギターサークル「央」
吹奏楽団
ドリームボックス

上記の他に、同好会 (42 団体) がある。

体育系サークル (34 団体)
陸上競技部
硬式野球部
準硬式野球部
硬式庭球部
バスケットボール部
ハンドボール部
ラグビー部
剣道部
空手道部
アーチェリー部
ハイキング部
ラクロス部
アメリカンフットボール部
ソフトボールサークル
テコンドー部
バレーボール部
バドミントン部
体操部
サッカー部
弓道部
ワンダーフォーゲル部
チアリーダー部
フォーミュラ JSAE プロジェクト
水泳部
卓球部
柔道部
少林寺拳法部
馬術部
サイクリング部
ダンス部
自動車部
ソフトテニス部
航空部
カヌー部

医学部学生団体 (運動部) (25 団体)
卓球
バレーボール
バスケットボール
剣道
弓道
硬式テニス
ソフトテニス
準硬式野球
スキー
バドミントン
ホッケー
山岳
水泳
陸上
ラグビー
ハンドボール
ゴルフ
サッカー
空手道
釣り部
フリースタイルスキー部
ボーリング部
スキューバダイビング部
医学部フットサル部
ダーツ部

医学部学生団体 (文化部) (16 団体)
セツルメント
ESS
リーベ・バルツェ
熱帯医療研究会
カスタンニエラ
室内合奏団
ピアノ
きりんの会
奥穂高診療クラブ
グルメ部
救急救命
クラブ・アナトミー
医療系学生のつどい「ざるぼぼ」
箏曲部
盆栽部
美術部

## プロジェクト研究センター

### 人獣感染防御研究センター (平成16年9月設置)

本センターは、新興・再興感染症等に対する論理的創薬体制(立体構造決定, 創薬計算, 有機合成, バイオアッセイ)を構築し, 主に人獣共通感染症をターゲットとする治療薬の開発研究を推進するとともに, 家畜や野生動物に起因する感染症に対する防御対策の研究開発を目的に設置した。

また, 文部科学省の「新興・再興感染症研究ネットワーク」の参画機関として, 新興・再興感染症研究拠点形成プログラム・人獣共通感染症研究クラスターの一翼を担い, 特にプリオン病とウイルス感染症の予防・治療薬の開発を担当している。

#### 【研究部門】 (人数)

総合企画開発分野(2), 構造生物学研究分野(8), 計算創薬研究分野(4), 有機合成研究分野(6), 生物試験研究分野(6) 計26人

### 先端創薬研究センター (平成17年10月設置)

本センターは, 岐阜薬科大学との連携のもと, 天然資源・生体分子の高次利用による生命機能探索分子, 疾病診断法, 健康食品, 医薬品などの研究開発の推進とそれらの技術移転による地域経済の再生を目的に設置し, 予防医学・創薬への展開を目指してバイオ分子探索研究を推進している。

RNA 創薬や分子イメージング研究などの分野で重要な成果をあげており, 平成22年には岐阜薬科大学やその他諸機関とも連携して「岐阜健康長寿・創薬推進機構」を設立して, 創薬科学の全国的・国際的拠点化を目指している。

#### 【研究部門】 (人数)

高次生命機能探索分子創製(9), 高機能性天然資源探索(6), 生体応答解析(免疫・アレルギー)(3), 生活習慣病(2), 認知症(4)・感染症(5), バイオインフォマティクス(3), 治験(1) 計34人

### 金型創成技術研究センター (平成18年7月設置)

本センターは, 文部科学省の平成18年度科学技術振興調整費の採択を受け設置したもので, 地域(岐阜県, 大垣市, 金型産業界)と連携し, 次世代の金型産業を担う高度職業人の養成を目的としている。本学教員のほか, 地元企業から講師として技術者を招き, 金型技術の高度化・伝承を継続的かつ着実に実行するとともに, 地域産業振興に貢献する“創造的かつ意欲ある若手技術者”の育成のため, 学部・大学院での教育はもとより, 金型実務経験を有する社会人対象の短期集中研修コースを開設している。

#### 【研究部門】 (人数)

金型材料・加工技術研究室(6), 固相創形技術研究室(鑄造, プレス)(8), 液相創形技術研究室(鑄造, 射出成形)(6), 金型要素技術研究室(6) 計26人

### 未来型太陽光発電システム研究センター (平成18年12月設置)

本センターは, 太陽光発電システム未来技術の研究開発を目的に設置した。高効率・大面積・長寿命・高信頼性・低コストを実現させるための太陽電池開発研究を行うとともに, 発電施設として実用化するためのシステム開発を行っている。

本センターにおける研究は, 国の太陽光発電に関する研究プロジェクトおよび産業界からの共同研究により研究費がまかなわれており, 今後必要となるハイブリッド研究システムおよびスマートグリッド研究を含めて, 環境に優しいエネルギーシステムの創出を目指している。

#### 【研究部門】 (人数)

薄膜シリコン系太陽電池研究開発部門(8), 発電量評価技術研究開発部門(7), 色素増感太陽電池研究開発部門(8), 太陽電池モジュール評価技術研究開発部門(2), ハイブリッドエネルギーシステム研究開発部門(2) 計27人

### 社会資本アセットマネジメント技術研究センター (平成20年7月設置)

本センターは, 社会基盤施設の効率的な維持管理を提案・実施するための技術の確立と, シンポジウム開催等によりそれら技術の地域への還元を目的としており, センターで構築した技術は, 地域の継続的発展を担うものである。

以下の研究部門において, 最新の構造物技術診断, 補修技術およびリスクに基づく戦略的整備意思決定システムを開発している。

センターには, 文部科学省の平成20年度科学技術振興調整費の採択を受けた「社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)養成ユニット」を開設した。ユニットでは, 地域(岐阜県, 建設業界)と連携し, 少人数制短期集中カリキュラムにより地域に貢献する総合的な技術者(ME)を養成している。

#### 【研究開発部門】 (人数)

社会基盤診断技術研究室(10), 社会基盤補修技術研究室(7), 総合リスクマネジメント技術研究室(11) 計28人



## 地域連携

### 地方自治体等との協定締結

本学は、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的に、地方自治体等と包括的連携・協力に関する協定を締結して、多様な分野で連携事業を積極的に進めている。

#### 包括連携協定

自治体等	締結日	主な連携活動（平成21年度）
大垣市	H18. 3.31	高校生ものづくり体験講座の実施 各種会議、審議会委員を大学から推薦 講演会等への講師派遣
各務原市 各務原商工会議所	H19.10.10	各種会議、審議会委員を大学から推薦
羽島市	H20. 2.26	国際交流サロンへ留学生を推薦 学生ボランティアの推薦
岐阜県	H20. 3.28	職員交流事業（地域医療医学センター、工学部等） 各種会議、審議会委員を大学から推薦 高校生向けオープンカレッジの開催 政策研究会の開催
関市	H20. 9.16	市民防災講座の開催
美濃市	H20.12.17	各種会議、審議会委員を大学から推薦
岐阜市	H21. 2.27	岐阜大学地域イノベーター育成研修事業による市職員の受け入れ 岐阜市・岐阜大学若手職員意見交換会 各種会議、審議会委員を大学から推薦 講演会等への講師派遣 岐阜地域産学官連携交流会の開催
高山市	H21. 4.17	岐阜大学地域イノベーター育成研修事業による市職員の受け入れ 岐阜大学フェア in 飛騨高山の開催
御嵩町	H21.10.28	低炭素のまちづくりへの取り組み

#### その他の連携協定

自治体等	締結日	主な協定内容
多治見市	H18. 3.24	大学講座開放事業
岐阜市	H18. 3.28	岐阜薬科大学との連携
大学共同利用機関法人 自然科学研究機構核融合研究所	H20. 3.25	研究及び人材養成
多治見市	H22. 2. 4	産官学連携

### 地域連携事業の推進

本学は、地域社会の活性化に資することを目的に、平成19年度から政策経費「岐阜大学活性化経費（地域連携）」を設け、地域連携事業を推進している。平成21年度からは、大学の構成員である学生の力を地域連携活動に活かすための支援として、「岐阜大学活性化経費（地域連携：学生）」を新設した。

- 岐阜大学活性化経費（地域連携：一般） 平成22年度：8事業
- 岐阜大学活性化経費（地域連携：NPO） 平成22年度：2事業
- 岐阜大学活性化経費（地域連携：学生） 平成22年度：4事業

## 公開講座・シンポジウム

### 公開講座

本学は、教育研究の成果を広く社会に開放し、地域社会の教育文化の向上に資することを目的に、各学部及びセンターが様々な内容の公開講座を実施している。また、小・中・高校生を対象とした講座では、公開講座のほかに、ものづくり講座などの体験講座を開催している。平成 22 年度の開講数（5 月現在決定分）は次のとおりである。

○一般社会人向けの生涯学習講座	13 講座
○専門職・指導者向けの専門講座	4 講座
○小・中・高校生を対象とした公開講座 / 体験講座	10 講座

### 岐阜シンポジウム

本学は、地域の知の拠点として、地球規模あるいは社会全体が抱える課題である環境、バイオ、情報、教育などの 21 世紀の重要テーマについて、岐阜大学の研究成果とともに最新の情報を社会に発信するため、平成 13 年度から「岐阜シンポジウム」を年 2 回程度開催している。

○平成 20 年度	第 14 回「地球温暖化と身近な森林の役割」 第 15 回「暮らしの安全と地域再生への挑戦 — 「みち」のメンテナンス技術—」
○平成 21 年度	第 16 回「微生物 — 21 世紀の社会と地球を支える立役者—」 第 17 回「新型インフルエンザを科学する」
○平成 22 年度	第 18 回「人間を支援する医学と工学 — 活力ある健康長寿社会をサポートする医工連携の最先端—」

## 高大連携

本学は、高校生が様々な研究分野への理解を深め、学問への動機づけや学習意欲の喚起を目的とした事業を実施している。平成 21 年は出前授業、講演会、化学・科学講座、SSH、サイエンスキャンプ、公開講座の 6 形態で 166 講座を開講した。また、高大連携に関する高等学校との懇談会を年間で 11 回開催している。

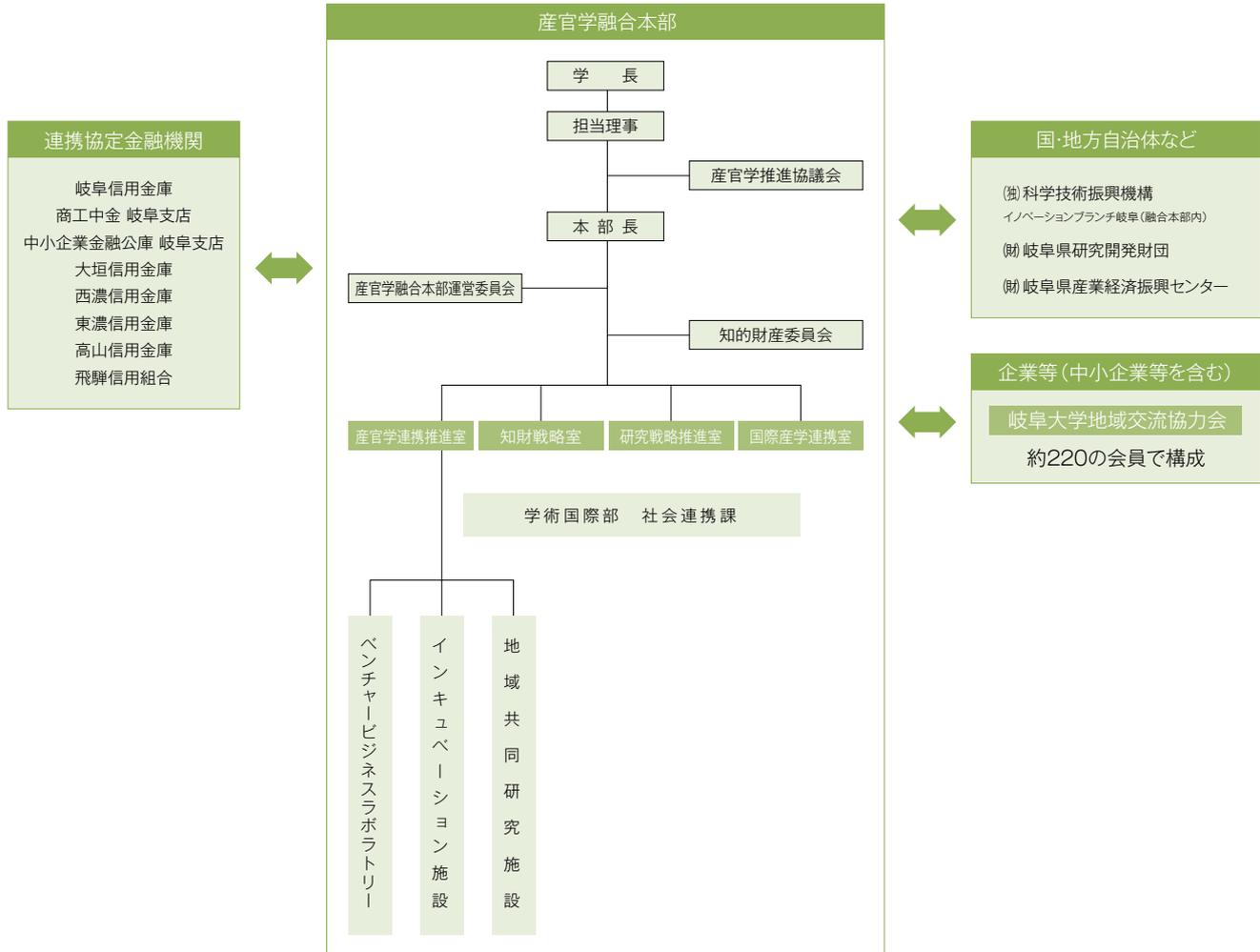
〔平成 21 年度実績〕

○高等学校を対象とした出前授業	106 講座
○高等学校における講演会	11 講座
○高校生のための化学・科学講座	10 講座
○SSH スーパーサイエンスハイスクールの学習支援	24 講座
○高校生のためのサイエンスキャンプ	6 講座
○高校生を対象とした公開講座	9 講座

なお、出前授業の平成 22 年度の開設数は、人文科学 21、社会科学 23、理学 27、応用科学 143、医学・福祉 14、総合 14、計 242 講座である。

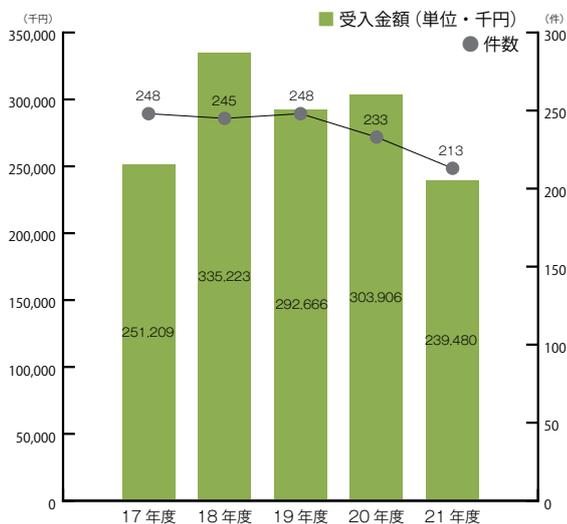
# 産官学連携

## 産官学融合本部体制図

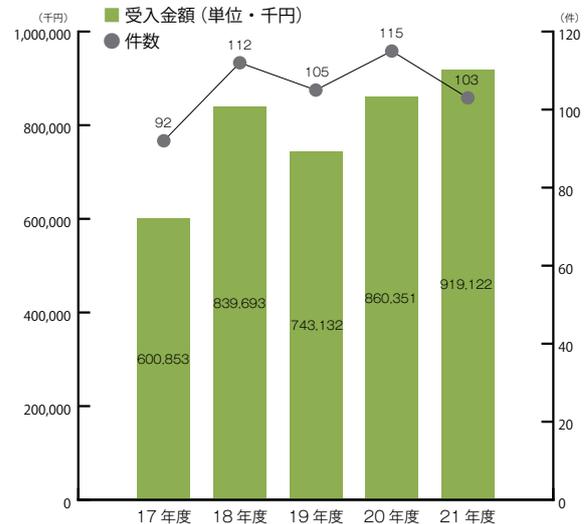


## 共同研究・受託研究

共同研究



受託研究



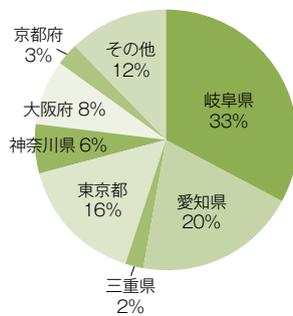
共同研究・受託研究部局別受入実績

平成21年度（金額単位：千円）

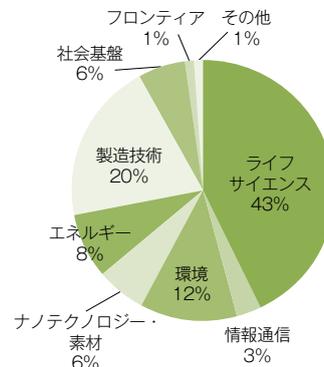
部 局	共同研究		受託研究	
	受入件数	受入金額	受入件数	受入金額
教育学部	9	4,532	0	2,000
地域科学部	0	0	1	2,080
医学系研究科・医学部	11	2,738	17	139,785
医学部附属病院	22	31,210	15	233,721
工学部	101	105,268	37	351,971
応用生物科学部	50	79,268	15	81,447
連合農学研究科	1	1,000	1	3,301
連合創薬医療情報研究科	0	0	1	8,580
流域圏科学研究センター	9	7,051	6	19,896
生命科学総合研究支援センター	1	330	4	7,800
総合情報メディアセンター	5	4,633	0	0
人獣感染防御研究センター	1	2,300	3	67,195
金型創成技術研究センター	3	1,150	3	1,346
合 計	213	239,480	103	919,122

共同研究実績

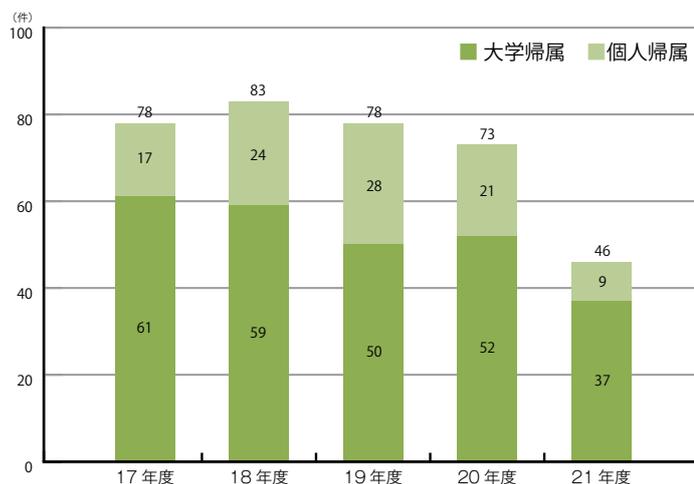
相手先機関所在地 (21年度)



実施分野 (21年度)

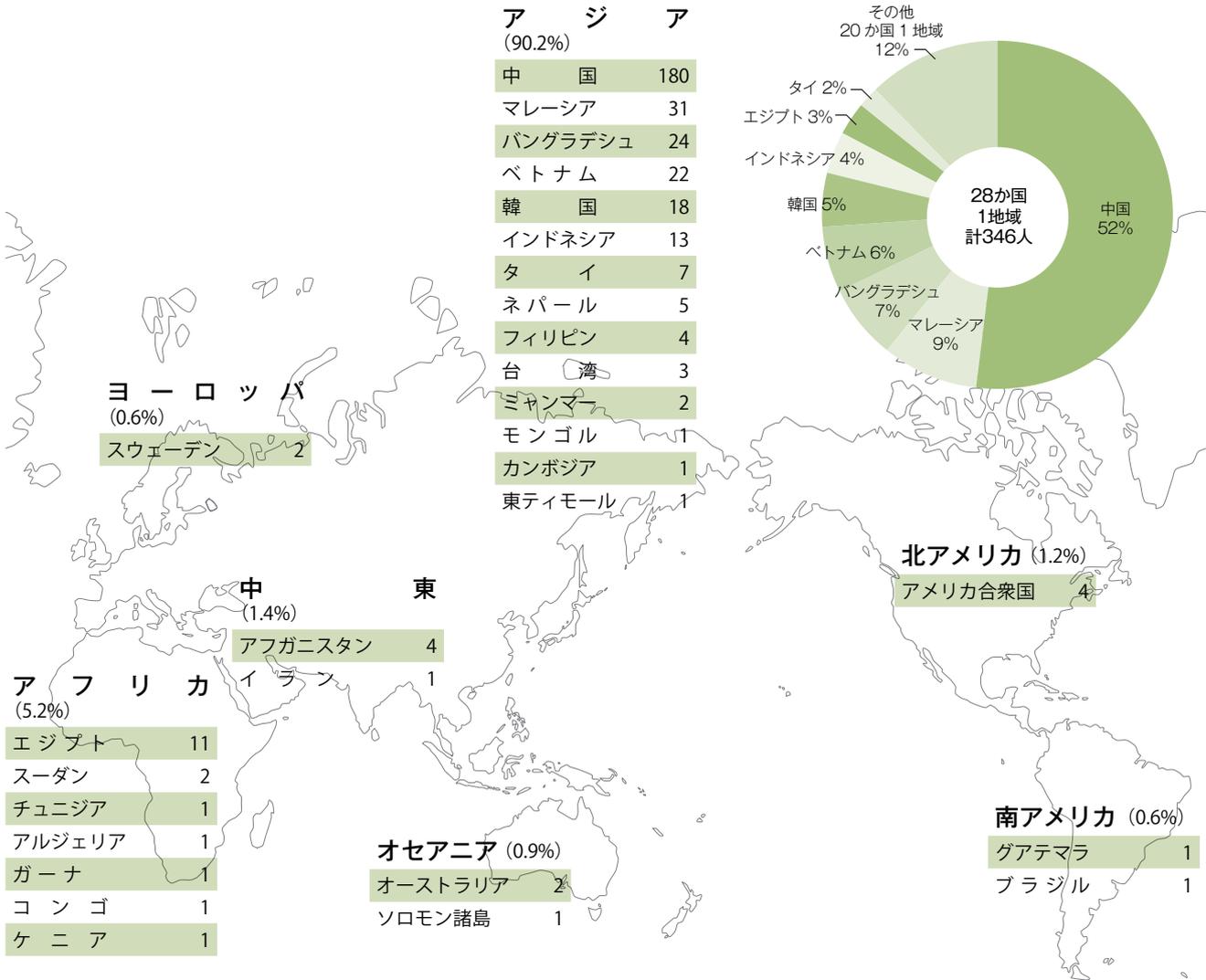


発明届

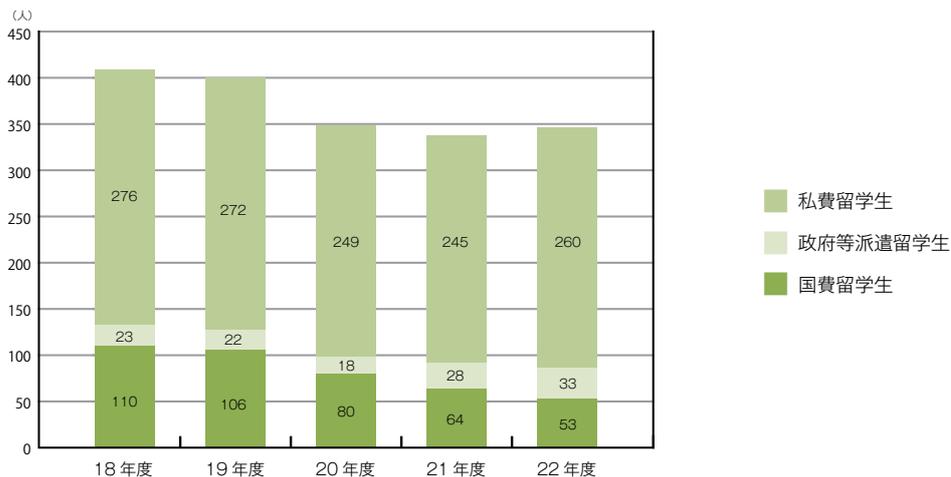


## 国際交流

国(地域)別外国人留学生数 (平成 22 年 5 月 1 日現在) (人)



外国人留学生受け入れ数の推移



## 学術交流協定締結大学一覧

大学間協定(16カ国39大学)

平成22年5月1日現在

大学名	国名	協定締結日
カンピーナス大学	ブラジル	1984. 8.27
サンディエゴ州立大学	米国	1985. 5. 7
浙江大学	中国	1986. 4.21
広西大学	中国	1986. 4.24
電子科技大学	中国	1986. 7.21
江南大学	中国	1986. 9. 3
中国医科大学	中国	1987. 8.15
ルンド大学	スウェーデン	1987. 9.12
ノーザンケンタッキー大学	米国	1990. 9.26
ソウル産業大学	韓国	1992. 3.19
グリフィス大学	オーストラリア	1995. 3. 3
ユタ大学	米国	1997. 5.28
ユタ州立大学	米国	1997. 5.29
ハノイ工科大学	ベトナム	1998. 6.26
ウェストバージニア大学	米国	1998.12.16
カセサート大学	タイ	1999. 8. 5
アパティダンディ大学	英国	2000. 6.28
内蒙古農業大学	中国	2000. 8. 8
シドニー工科大学	オーストラリア	2000. 8.14
バンノン大学	ハンガリー	2001. 3. 2

大学名	国名	協定締結日
アンダラス大学	インドネシア	2001. 4.23
バングラデシュ農業大学	バングラデシュ	2001. 8.23
エルフルト大学	ドイツ	2002.12. 4
吉林大学	中国	2003. 5.20
チェンマイ大学	タイ	2003. 8. 4
ダッカ大学	バングラデシュ	2004. 6.17
モンクット王トンブリ工科大学	タイ	2005. 1.10
華僑大学	中国	2005. 3.29
同済大学	中国	2006. 3.16
ランボン大学	インドネシア	2006. 4.25
ポートランド州立大学	米国	2006. 6.19
内蒙古大学	中国	2007. 2. 6
木浦大学	韓国	2008. 2.26
シバジ大学	インド	2008. 3.18
パイロイト大学	ドイツ	2008. 8.22
西南交通大学	中国	2008. 9. 5
ベンハー大学	エジプト	2009. 3.18
高麗大学	韓国	2010. 1.15
カウナス工科大学	リトアニア	2010. 3. 8

### 部局間協定

大学名	国名	協定締結日	協定部局
チュラロンコン大学理学部	タイ	1994. 3.15	応用生物科学部
コンケン大学農学部	タイ	2000. 3.27	応用生物科学部
コンケン大学学部間共同開発研究所	タイ	2000. 3.27	応用生物科学部
浙江大学医学院	中国	2000.12. 4	医学部
コンケン大学医学部	タイ	2000.12.18	医学部
国立全南大学校工科大学	韓国	2002. 2. 6	工学部
シドニー大学文学部	オーストラリア	2004. 3. 2	教育学部
中国科学院水利部水土保持研究所	中国	2008. 8.12	社会資本アセットマネジメント技術研究センター
国立獣医科学検疫院 獣医科学研究所	韓国	2008.11. 4	応用生物科学部
コロラド州立大学	米国	2008.11.18	医学部
ガジャマタ大学 畜産学部	インドネシア	2008.12. 5	応用生物科学部
忠北大学医学部	韓国	2009. 4.17	医学部
中国水利水電科学研究所岩土工程研究所	中国	2009. 7.24	社会資本アセットマネジメント技術研究センター
ボゴール農業大学	インドネシア	2009.11. 3	連合獣医学研究科
カフエルシェイク大学 獣医学部	エジプト	2009.11.15	連合創薬医療情報研究科

### 外国人研究者受入数及び来訪者数

平成21年度

外国人研究者	36人
外国人来訪者	120人

### 海外渡航者数

平成21年度

出張	520人
研修	40人

\*非常勤職員を除く

### 交換留学

(人)

国名	大学名	派遣年度			受入年度		
		19	20	21	19	20	21
バングラデシュ	ダッカ大学				1	3	
中国	広西大学				2	2	2
	電子科技大学				2	2	2
	内蒙古農業大学					2	
	吉林大学					3	1
	華僑大学						2
	同済大学						1
	内蒙古大学						1
韓国	ソウル産業大学			1	3	3	3
	木浦大学			1			2
タイ	カセサート大学					1	
	チェンマイ大学				1	1	2
	モンクット王トンブリ工科大学				1		3
オーストラリア	グリフィス大学				3	6	1
	シドニー工科大学	3	1	1	2	2	2
スウェーデン	ルンド大学			1	2	2	2
英国	アバティダンディ大学					2	
米国	サンディエゴ州立大学				1	2	3
	ノーザンケンタッキー大学	2	1	1			
	ユタ大学				1		
	ユタ州立大学						1
	ウエストバージニア大学	1	2	2	1		
合計		6	4	7	20	31	28

### 部局間交流協定交流数

平成21年度(人)

国名	大学名	派遣人数	受入人数	部局
韓国	国立全南大学校		2	工学研究科
エジプト	カ・フル・エル・シェイク大学		1	連合創薬医療情報研究科

## 夏期短期留学(サマースクール)

(人)

国名	大学名	派遣年度			受入年度		
		19	20	21	19	20	21
韓国	ソウル産業大学		10	7	6	5	2
	木浦大学			2		3	3
オーストラリア	グリフィス大学	15	11	8			
スウェーデン	ルンド大学				15	15	17
米国	ユタ州立大学					1	
合計		15	21	17	21	24	22

## 国際交流会館

施設名	施設の概要		
	宿泊室		その他
国際交流会館 (岐阜市柳戸1番1)	A棟	単身室 31	会議室・研修室, 談話室
		夫婦室 2	
		家族室 3	
	B棟	単身室 38	多目的ホール, 和室
		夫婦室 12	
		家族室 4	
	C棟	単身室 11	
		夫婦室 2	
		家族室 4	

## 海外オフィス

本学では、外国人学生・研究者との交流の促進を目的として、海外オフィスを設置している。

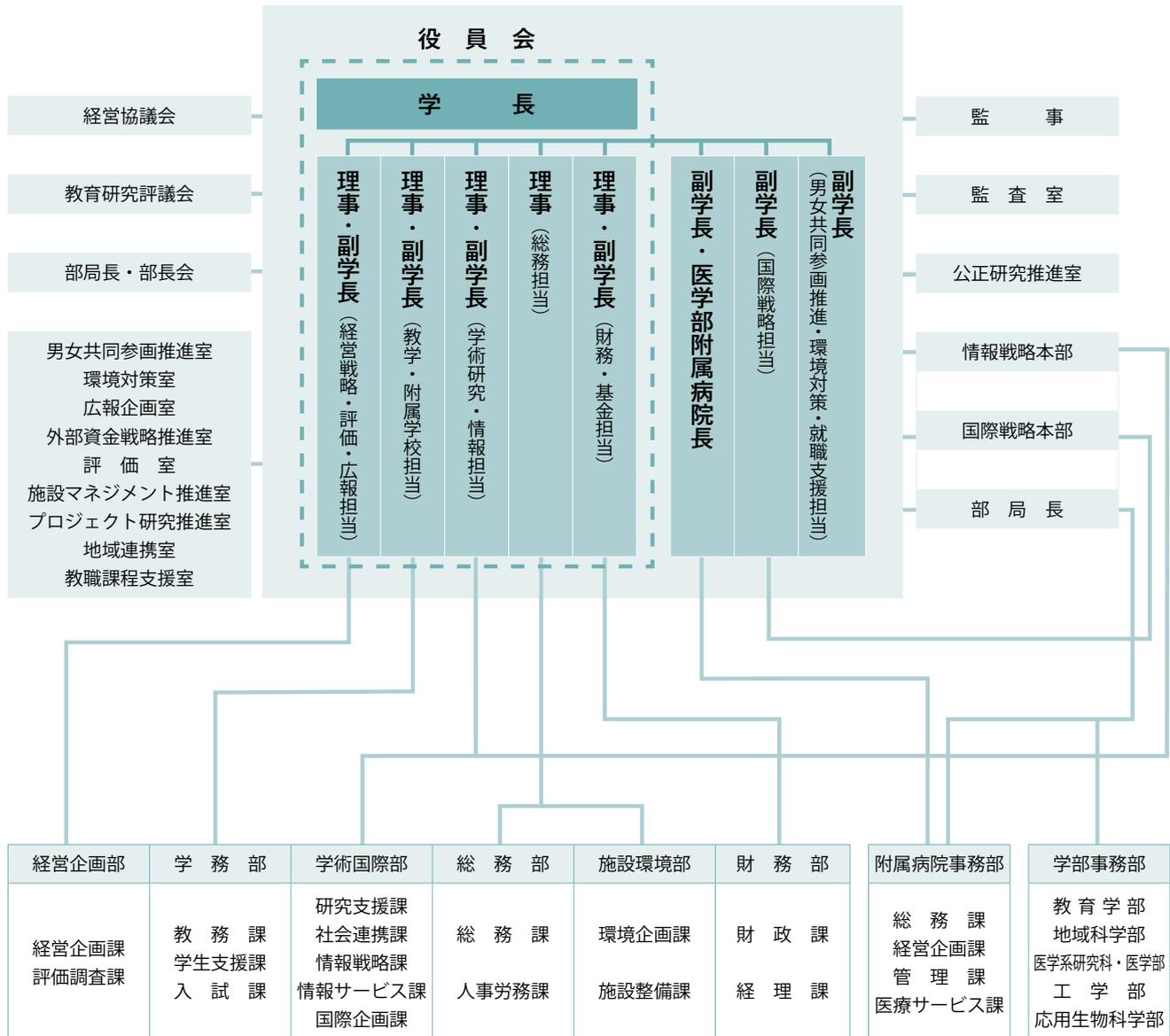
### 岐阜大学上海オフィス

中華人民共和国上海市御青路 1043 号  
電話：86-21-58124777  
FAX：86-21-58124778

### 岐阜大学ダッカオフィス

47, Latif Tower (9th floor) Kawran Bazar,  
Tejgaon Dhaka Bangladesh

運営組織



# 役員等一覧

役員等	
学 長	森 秀 樹
理 事・副学長(経営戦略・評価・広報担当)	八 嶋 厚
理 事・副学長(教学・附属学校担当)	岡 野 幸 雄
理 事・副学長(学術研究・情報担当)	小 見 山 章
理 事(総務担当)	吉 村 泰 治
理 事・副学長(財務・基金担当)	杉 戸 真 太
監 事	水 谷 嘉 之
監 事(非常勤)	戸 田 一 彦
副学長・医学部附属病院長	岩 間 亨
副学長(国際戦略担当)	廣 田 則 夫
副学長(男女共同参画推進・環境対策・就職支援担当)	林 正 子
経営協議会委員	
学 長	森 秀 樹
理 事・副学長(経営戦略・評価・広報担当)	八 嶋 厚
理 事・副学長(教学・附属学校担当)	岡 野 幸 雄
理 事・副学長(学術研究・情報担当)	小 見 山 章
理 事 (総務担当)	吉 村 泰 治
理 事・副学長(財務・基金担当)	杉 戸 真 太
副学長・医学部附属病院長	岩 間 亨
副学長(国際戦略担当)	廣 田 則 夫
副学長(男女共同参画推進・環境対策・就職支援担当)	林 正 子
(株)TYK代表取締役 会長	牛 込 進
(株)岐阜銀行 取締役頭取	大 熊 義 之
(株)岡本 代表取締役会長	岡本太右衛門
岐阜薬科大学長	勝 野 眞 吾
東海学院大学短期大学部学長	神 谷 眞 弓 子
(株)中日新聞社 専務取締役東京本社代表	小 出 宣 昭
(独)国立科学博物館 顧問	佐 々 木 正 峰
岐阜県副知事	西 藤 公 司
岐阜市長	細 江 茂 光

教育研究評議会委員	
学 長	森 秀 樹
理 事・副学長(経営戦略・評価・広報担当)	八 嶋 厚
理 事・副学長(教学・附属学校担当)	岡 野 幸 雄
理 事・副学長(学術研究・情報担当)	小 見 山 章
理 事(総務担当)	吉 村 泰 治
理 事・副学長(財務・基金担当)	杉 戸 真 太
副学長・病院長	岩 間 亨
副学長(国際戦略担当)	廣 田 則 夫
副学長(男女共同参画推進・環境対策・就職支援担当)	林 正 子
教育学部長	江 馬 諭
地域科学部長	口 蔵 幸 雄
医学系研究科長	犬 塚 貴
工学部長	若 井 和 憲
応用生物科学部長	金 丸 義 敬
連合農学研究科長	高 見 澤 一 裕
連合獣医学研究科長	石 黒 直 隆
連合創薬医療情報研究科長	北 出 幸 夫
産官学融合本部長	森 本 博 昭
教養教育推進センター長	福 士 秀 人
流域圏科学研究センター長	藤 田 裕 一 郎
生命科学総合研究支援センター長	渡 邊 邦 友
総合情報メディアセンター長	内 田 裕 市
留学生センター長	小 林 浩 二
教育学部教授	小 井 土 由 光
地域科学部教授	宮 野 雄 一
医学系研究科教授	清 島 満
工学部教授	速 水 悟
応用生物科学部教授	福 井 博 一

学部長・センター長等		
教育学部	学部長	江馬 諭
	副学部長	小井土由光
	副学部長	宮本 正一
	副学部長	原田 憲一
	附属特別支援教育センター長	池谷 尚剛
	附属小学校長	佐藤 節子
	附属小学校副校長	吉村 希至
	附属中学校長	佐藤 節子
	附属中学校副校長	後藤 信義
地域科学部	学部長	口蔵 幸雄
	副学部長	宮野 雄一
	副学部長	竹内 章郎
医学系研究科・医学部	研究科長(学部長)	犬塚 貴
	副研究科長(副学部長)	小澤 修
	副研究科長(副学部長)	清島 満
	副学部長	箕浦とき子
	地域医療医学センター長	犬塚 貴
医学部附属病院	病院長	岩間 亨
	副病院長	吉田 和弘
	副病院長	村上 啓雄
	副病院長(看護部長)	五島 光子
	薬剤部長	伊藤 善規
	看護部長	五島 光子
工学部	学部長	若井 和憲
	副学部長	速水 悟
	副学部長	松居 正樹
	副学部長	土田 亮
	ものづくり技術教育支援センター長	佐々木 実

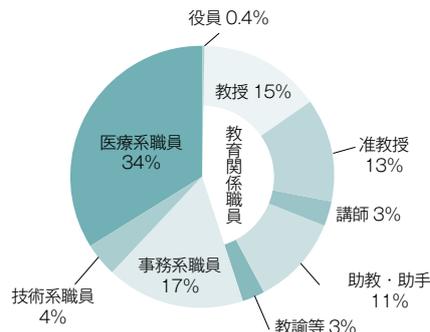
応用生物科学部	学部長	金丸 義敬
	副学部長	鈴木 文昭
	副学部長	福井 博一
	副学部長	杉山 誠
	附属岐阜フィールド科学教育研究センター長	宮川 修一
	附属動物病院長	鬼頭 克也
	附属野生動物管理学研究センター長	鈴木 正嗣
	附属比較がんセンター長	丸尾 幸嗣
連合農学研究科	研究科長	高見澤一裕
連合獣医学研究科	研究科長	石黒 直隆
連合創薬医療情報研究科	研究科長	北出 幸夫
図書館	図書館長(兼)	小見山 章
	医学図書館長	山本 哲也
産官学融合本部	本部長	森本 博昭
国際戦略本部	本部長(兼)	廣田 則夫
教養教育推進センター	センター長	福士 秀人
流域圏科学研究センター	センター長	藤田 裕一郎
生命科学総合研究支援センター	センター長	渡邊 邦友
総合情報メディアセンター	センター長	内田 裕市
留学生センター	センター長	小林 浩二
保健管理センター	センター長	清水 克時
人獣感染防御研究センター	センター長	桑田 一夫
先端創薬研究センター	センター長	北出 幸夫
金型創成技術研究センター	センター長	三輪 實
未来型太陽光発電システム研究センター	センター長	野々村 修一
社会資本アセットマネジメント技術研究センター	センター長	高木 朗義
人間工学研究開発センター	センター長	野方 文雄
医学部医学教育開発研究センター	センター長	鈴木 康之

# 役員・職員数

区 分	役 員	教育系職員							事務系職員	技術系職員	医療系職員	合 計
		教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	附属学校 教員	小 計				
学長	1											1
理事	5											5
監事	1 1											1 1
大学本部		1						1	142 (42)	26 (4)		169 (46)
教育学部		49 (7)	37 (5)					86 (12)	18 (8)	1 (1)		105 (21)
大学院教育学研究科		4	6 (1)					10 (1)				10 (1)
附属小・中学校							56 (12)	56 (12)				56 (12)
地域科学部		23 (2)	18 (4)	2	4 (1)			47 (7)	9 (4)			56 (11)
医学部		12 (6)	11 (11)		14 (12)	1 (1)		38 (30)	24 (7)	6 (2)		68 (39)
大学院医学系研究科		43 (2)	27 (1)	8	46 (12)			124 (15)				124 (15)
医学部医学教育開発研究センター		3			3 (2)			6 (2)				6 (2)
医学部附属病院			10	34 (4)	63 (10)			107 (14)	61 (21)	12 (4)	616 (511)	796 (550)
工学部・工学研究科		68 (2)	68 (4)	1	41 (1)			178 (7)	27 (12)	12 (1)		217 (20)
応用生物科学部		51	37 (1)	1	11 (3)			100 (4)	21 (6)	13 (2)		134 (12)
大学院連合農学研究科		1						1				1
大学院連合獣医学研究科		1			1 (1)			2 (1)				2 (1)
大学院連合創薬医療情報研究科		1						1				1
産官学融合本部		2	1					3				3
教養教育推進センター												
流域圏科学研究センター		6	6 (1)		3 (1)			15 (2)				15 (2)
生命科学総合研究支援センター		2	4 (1)		4 (1)			10 (2)				10 (2)
総合情報メディアセンター		7	5 (1)		1 (1)			13 (2)				13 (2)
留学生センター		2 (1)	3 (2)					5 (3)				5 (3)
保健管理センター		1 (1)	1 (1)		3 (1)			5 (3)			4 (4)	9 (7)
人獣感染防御研究センター		1			7			8				8
先端創薬研究センター												
金型創成技術研究センター		1	1		1			3				3
未来型太陽光発電システム研究センター												
社会資本アセットマネジメント技術研究センター												
合 計	7 1	279 (21)	235 (33)	46 (4)	202 (46)	1 (1)	56 (12)	819 (117)	302 (100)	70 (14)	620 (515)	1818 1 (746)

( ) 内は女性の人数を内数で示す。青字は非常勤役員を外数で示す。

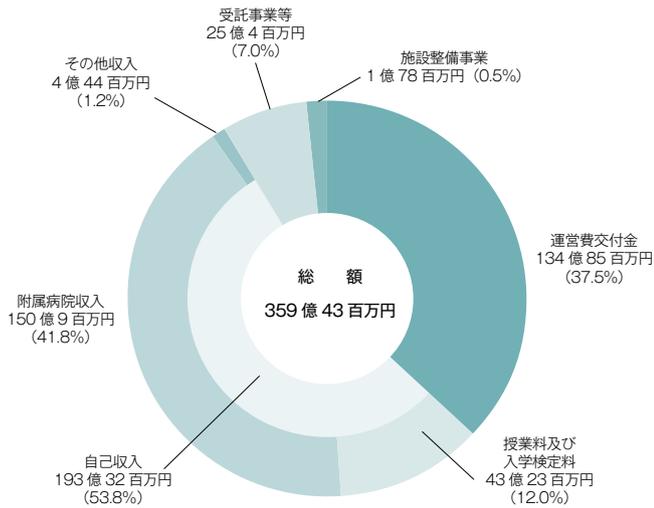
役員・職員の構成比率



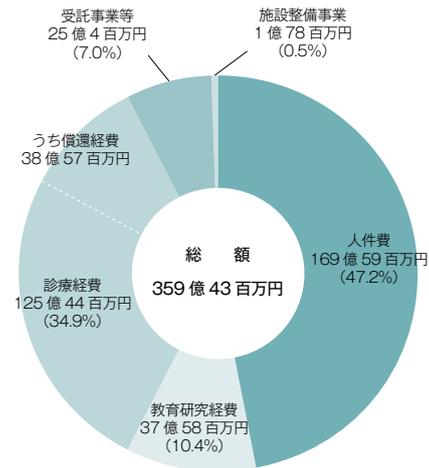
# 予 算

## 平成 22 年度岐阜大学の予算

### 【収 入】



### 【支 出】



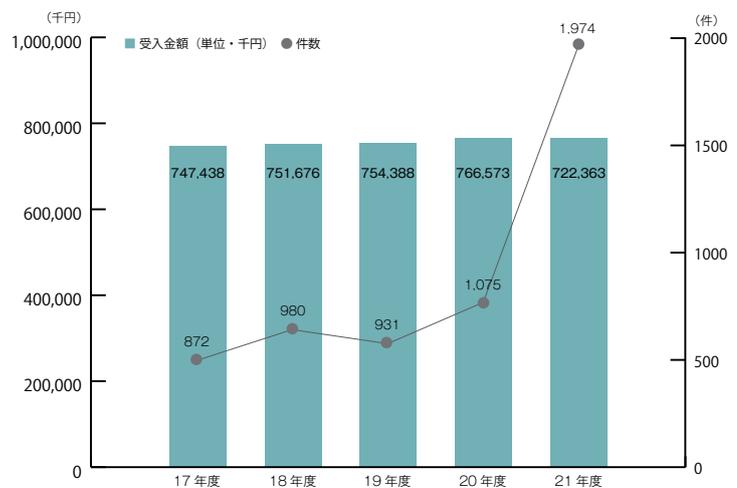
# 寄附金

### 奨学寄附金 (平成 21 年度実績)

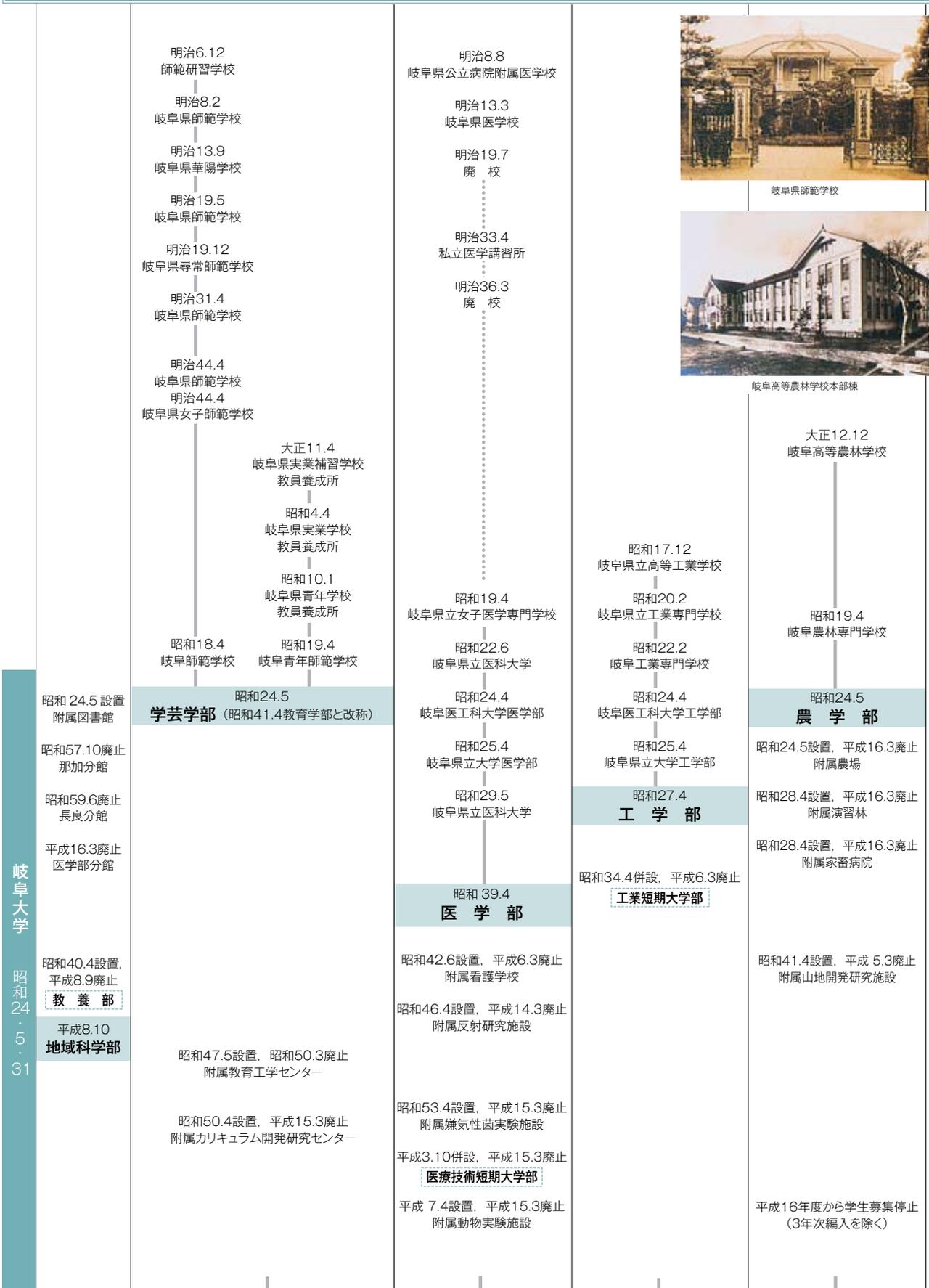
(単位：千円)

区 分	件 数	金 額
事務局 (国際交流含む)	16	4,159
岐阜大学基金	1,065	75,759
教育学部	13	6,382
附属小学校	1	13,640
附属中学校	1	7,340
地域科学部	6	3,800
医学系研究科・医学部	358	300,842
医学部附属病院	142	112,144
工学部	124	123,334
応用生物科学部	218	58,979
連合農学研究科	2	1,200
流域圏科学研究センター	13	9,735
生命科学総合研究支援センター	8	2,285
総合情報メディアセンター	6	2,700
人獣感染防御研究センター	1	60
<b>合 計</b>	<b>1,974</b>	<b>722,363</b>

千円未満は切り捨てとし、医学部には寄附講座分 38,000 千円、工学部には寄附講座分 30,000 千円を含む



# 沿革



岐阜県師範学校



岐阜高等農林学校本部棟

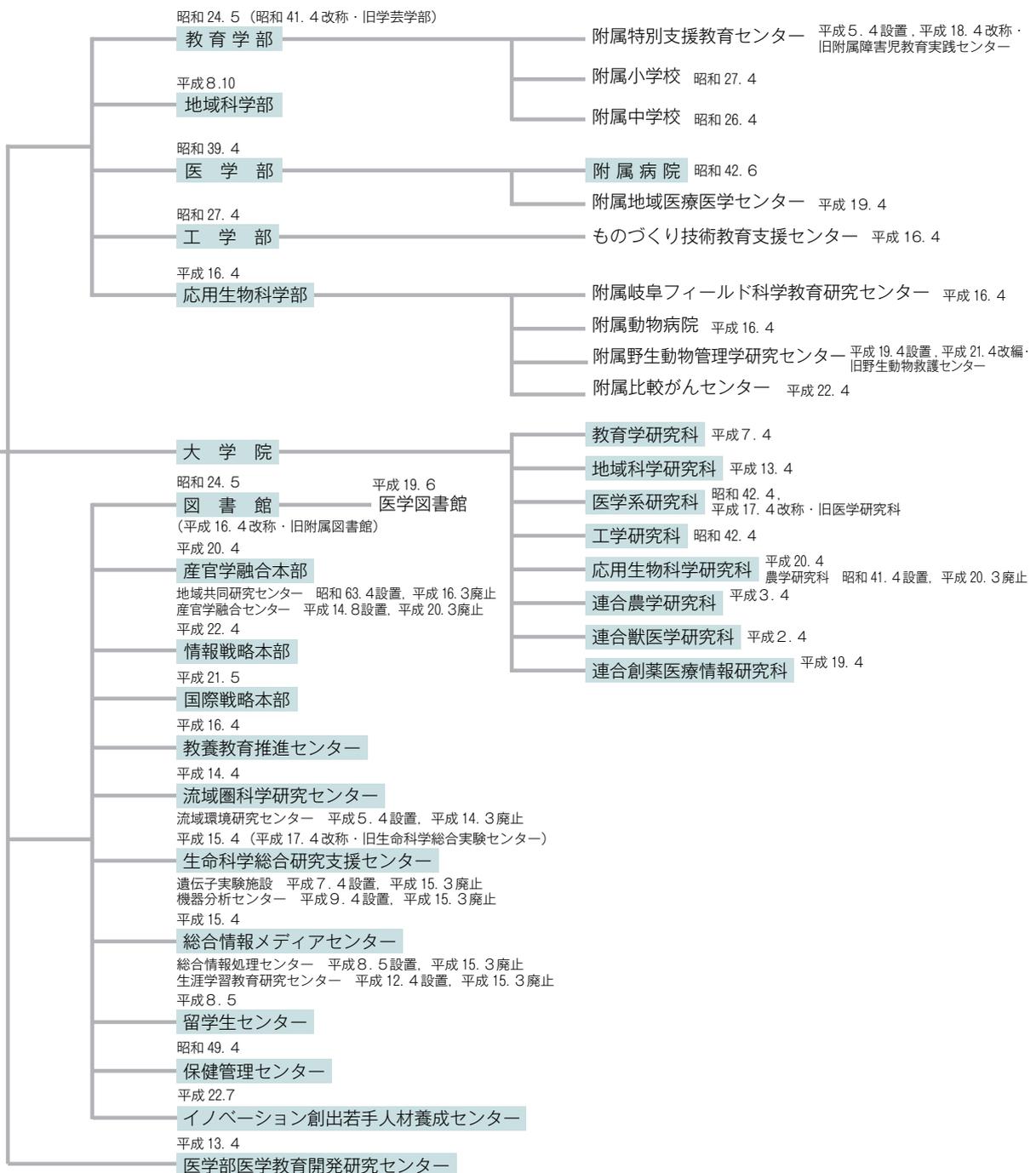
組織

歴代学長

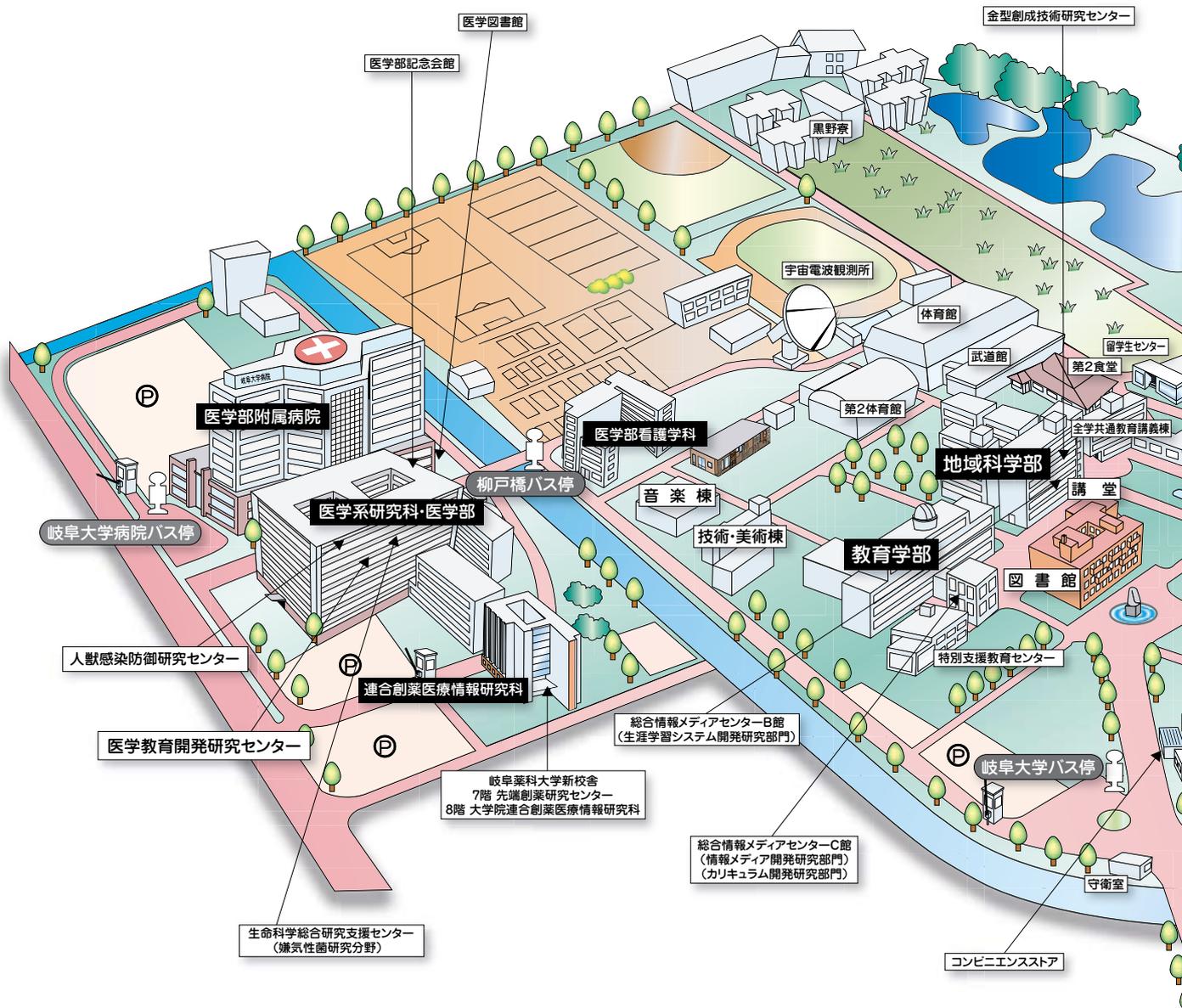
初代	青木文一郎	昭和24年5・31	～	昭和29年7・1
事務取扱	高橋 悌蔵	昭和29年7・1	～	昭和30年5・31
第2代	吉井 義次	昭和30年6・1	～	昭和36年5・31
第3代	四方 博	昭和36年6・1	～	昭和42年5・31
第4代	今西 錦司	昭和42年6・1	～	昭和48年5・31
第5代	林 金雄	昭和48年6・1	～	昭和52年5・31
第6代	館 正知	昭和52年6・1	～	昭和58年5・31
第7代	早野 三郎	昭和58年6・1	～	平成元年5・31
第8代	加藤 晃	平成元年6・1	～	平成7年5・31
第9代	金城 俊夫	平成7年6・1	～	平成13年5・31
第10代	黒木登志夫	平成13年6・1	～	平成20年3・31
第11代	森 秀樹	平成20年4・1	～	

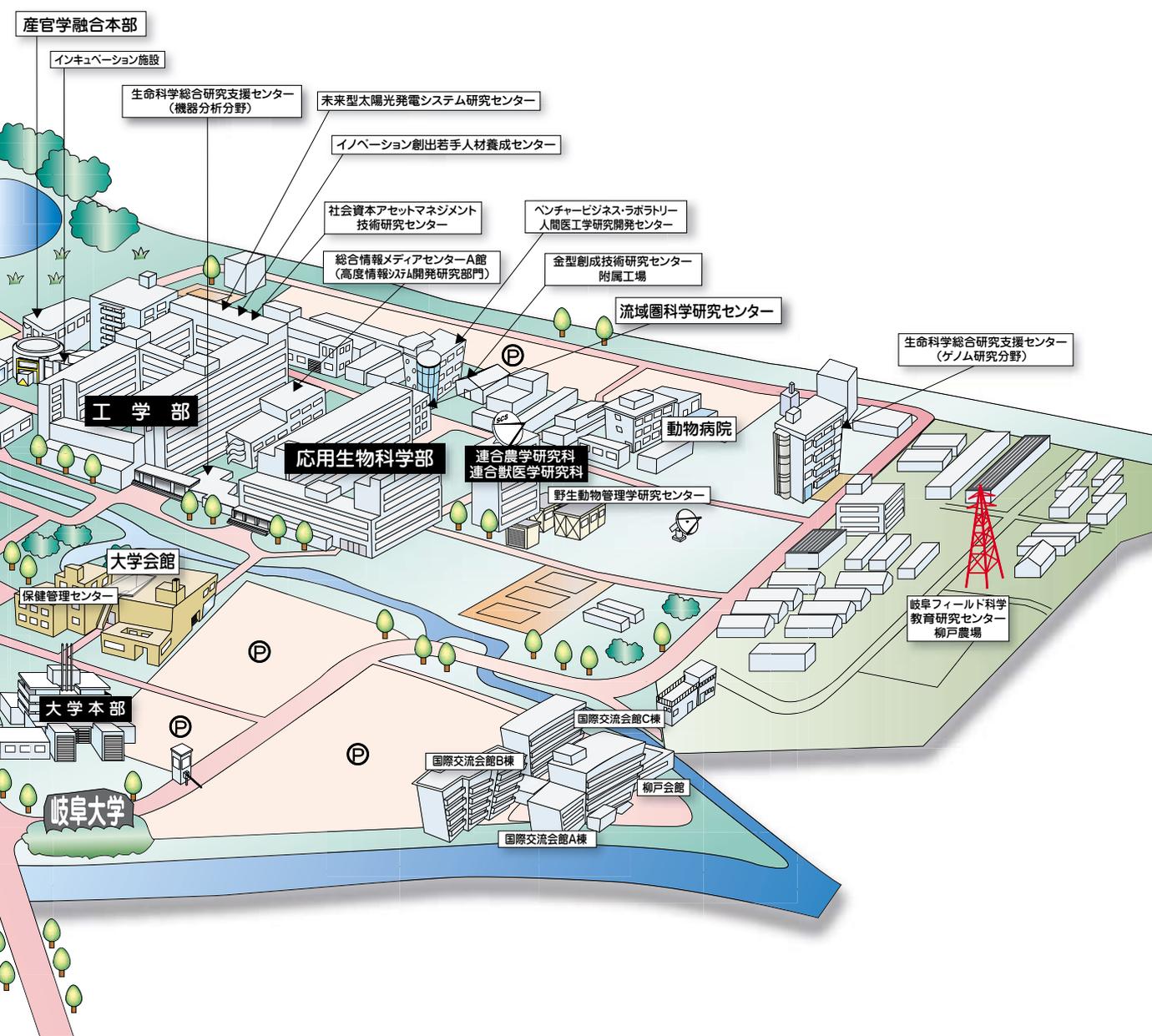
国立大学法人岐阜大学

平成16・4・1



建物配置図





# 土地・建物

平成22年5月1日現在

地 区	区 分	土 地 (m <sup>2</sup> )	建 物 (m <sup>2</sup> )
柳 戸 地 区	本 部 棟	520,826	4,000
	教 育 学 部		18,726
	地 域 科 学 部		3,640
	地 域 科 学 部 ・ 共 通 教 育 講 義 棟		13,433
	医 学 部 ( 看 護 学 科 )		7,197
	工 学 部		47,972
	応 用 生 物 科 学 部		27,524
	大 学 院 連 合 農 学 研 究 科 ・ 連 合 獣 医 学 研 究 科		2,301
	動 物 病 院		3,100
	図 書 館 ( 講 堂 含 む )		7,192
	産 官 学 融 合 セ ン タ ー		3,903
	流 域 圏 科 学 研 究 セ ン タ ー		1,112
	生 命 科 学 総 合 研 究 支 援 セ ン タ ー		2,843
	総 合 情 報 メ デ ィ ア セ ン タ ー		2,311
	留 学 生 セ ン タ ー		336
	国 際 交 流 会 館		4,268
	大 学 会 館 , 第 二 食 堂 , 柳 戸 会 館		6,465
	体 育 ・ 課 外 活 動 施 設		6,301
	黒 野 寮		5,045
	保 育 園	249	
排 水 処 理 施 設 , 中 央 機 械 室 , 中 継 ポ ンプ 室 , 特 高 受 変 電 室 外	1,847		
医 学 部 ・ 同 附 属 病 院	124,337	111,519	
柳 戸 地 区 合 計	645,163	281,284	

長 良 地 区	教 育 学 部 附 属 小 ・ 中 学 校 ( 圃 場 )	1,821	
	学 外 合 宿 研 修 施 設	3,263	1,304
司 町 地 区	旧 医 学 部 ・ 同 附 属 病 院 跡 地	30,860	
	司 町 5 番 地	239	
加 納 地 区	教 育 学 部 附 属 小 ・ 中 学 校	30,608	13,472
美 濃 加 茂 地 区	応 用 生 物 科 学 部 附 属 岐 阜 フ ィ ー ル ド 科 学 教 育 研 究 セ ン タ ー	( 19 )	
	美 濃 加 茂 農 場	95,832	1,602
萩 原 町 地 区	応 用 生 物 科 学 部 附 属 岐 阜 フ ィ ー ル ド 科 学 教 育 研 究 セ ン タ ー	( 2,460 )	
	位 山 演 習 林	5,538,803	1,103
高 山 地 区	流 域 圏 科 学 研 究 セ ン タ ー 高 山 試 験 地	( 159,266 )	750
そ の 他	職 員 宿 舎	18,442	8,813

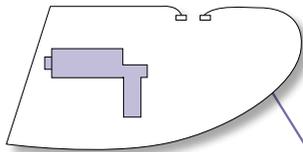
合 計		( 161,745 )	308,328
( ) 内 の 数 は 借 用 地 で , 外 数 で あ る		6,365,031	

学外合宿研修施設 (岐阜市長良竜東町)

大学から5km 車で15分



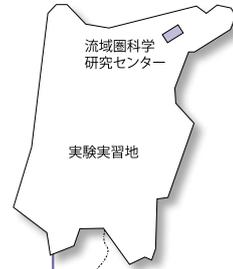
学外合宿研修施設



流域圏科学研究センター  
高山試験地 (高山市岩井町)



高山試験地



流域圏科学研究センター

実験実習地

福井県

長野県



応用生物科学部附属岐阜フィールド  
科学教育研究センター位山演習林  
(下呂市萩原町)

JR 下呂駅から10km



演習林建物遠景

岐阜大学  
(岐阜市柳戸1番1)

JR 岐阜駅から7km 車で20分  
新幹線岐阜羽島駅から20km  
車で40分

滋賀県

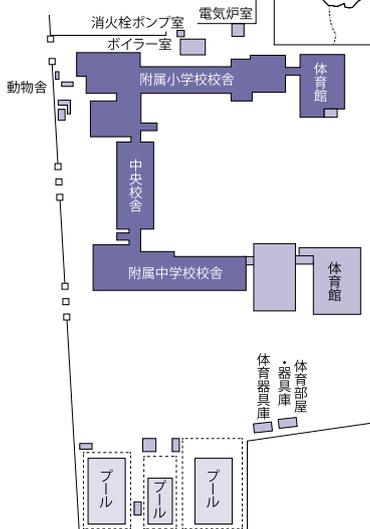
東海道本線

東海道新幹線

愛知県

三重県

旧医学部・同附属病院



応用生物科学部附属岐阜フィールド  
科学教育研究センター美濃加茂農場 (美濃加茂市牧野)

JR 古井駅から6km



美濃加茂農場



実験実習地

管理棟

教育学部附属学校 (岐阜市加納大手町)

JR 岐阜駅から1.2km



教育学部附属小学校



教育学部附属中学校

## 所在地・交通案内

	部局・施設等	郵便番号	住 所	電 話 番 号	F A X 番 号
柳 戸 地 区	大学本部 教育学部 / 教育学研究科 ・附属特別支援教育センター 地域科学部 / 地域科学研究科 工学部 / 工学研究科 応用生物科学部 / 応用生物科学研究科 ・附属岐阜フィールド科学教育研究センター ・附属動物病院 ・附属野生動物管理学研究センター ・附属比較がんセンター 連合農学研究科 連合獣医学研究科 連合創薬医療情報研究科 図 書 館 産官学融合本部 教養教育推進センター 流域圏科学研究センター 生命科学総合研究支援センター 総合情報メディアセンター 留学生センター 保健管理センター	501-1193	岐阜市柳戸1番1	230-1111 (代表)	293-2021
	293-2203			293-2207	
	293-2350			293-2355	
	293-3002			293-3008	
	293-2365			293-2376	
	293-2835			293-2840	
	293-2972			293-2977	
	293-2962			293-2964	
	293-2959			293-2959	
	293-2884			293-2884	
〈058〉 293-2984	〈058〉 293-2992				
293-2987	293-2992				
230-7602	230-7604				
293-2184	293-2194				
293-2025	293-2022				
293-2178	293-3020				
293-2061	293-2062				
293-3171	293-3172				
293-2041	293-2044				
293-2142	293-2143				
293-2174	293-2177				
金型創成技術研究センター 未来型太陽光発電システム研究センター 社会資本アセットマネジメント技術研究センター 人間医工学研究開発センター				293-2496	293-2496
				293-2685	293-2685
				293-2499	293-2499
				293-3140	293-3141
医学部 / 医学系研究科 医学部附属病院 医学教育開発研究センター 人獣感染防御研究センター	501-1194			230-6000 (代表)	230-6060
				230-6008	230-6020
				230-6470	230-6468
				230-6145	230-6144
先端創薬研究センター	501-1196	岐阜市大学西1丁目25-4	〈058〉	230-7633	〈058〉 230-7632
加納 教育学部附属小学校 教育学部附属中学校	500-8482	岐阜市加納大手町74	〈058〉	271-3545 271-3507	〈058〉 271-1816 272-3665
美濃 応用生物科学部附属 岐阜フィールド科学教育研究センター 美濃加茂農場	505-0016	美濃加茂市牧野1918-1	〈0574〉	25-2807	〈0574〉 25-2807
萩原 同センター 位山演習林	509-2501	下呂市萩原町山之口	〈0576〉	54-1611	〈0576〉 54-1477
高山 流域圏科学研究センター 高山試験地	506-0815	高山市岩井町919-47	〈0577〉	31-1005	〈0577〉 31-1016

### 岐阜大学へのアクセス

#### バス・タクシー

##### 【JR岐阜駅 / 名鉄岐阜駅から】

- ・岐阜大学まで約7km, バスで約30分, タクシーで約20分

#### 鉄道

##### 【JR名古屋駅 / 名鉄名古屋駅 / 近鉄名古屋駅から】

- ・JR岐阜駅まで, 東海道本線(新快速)で約18分
- ・名鉄岐阜駅まで, 名鉄名古屋本線(特急)で約25分

##### 【岐阜羽島駅(新幹線)から】

- ・新羽島駅(岐阜羽島駅降り)から名鉄岐阜駅まで,  
名鉄羽島線(急行)で約30分

##### 【中部国際空港から】

- ・名鉄岐阜駅まで, 名鉄(空港特急・ミュースカイ)で約55分
- ・タクシー利用の場合は, 岐阜大学まで約40分

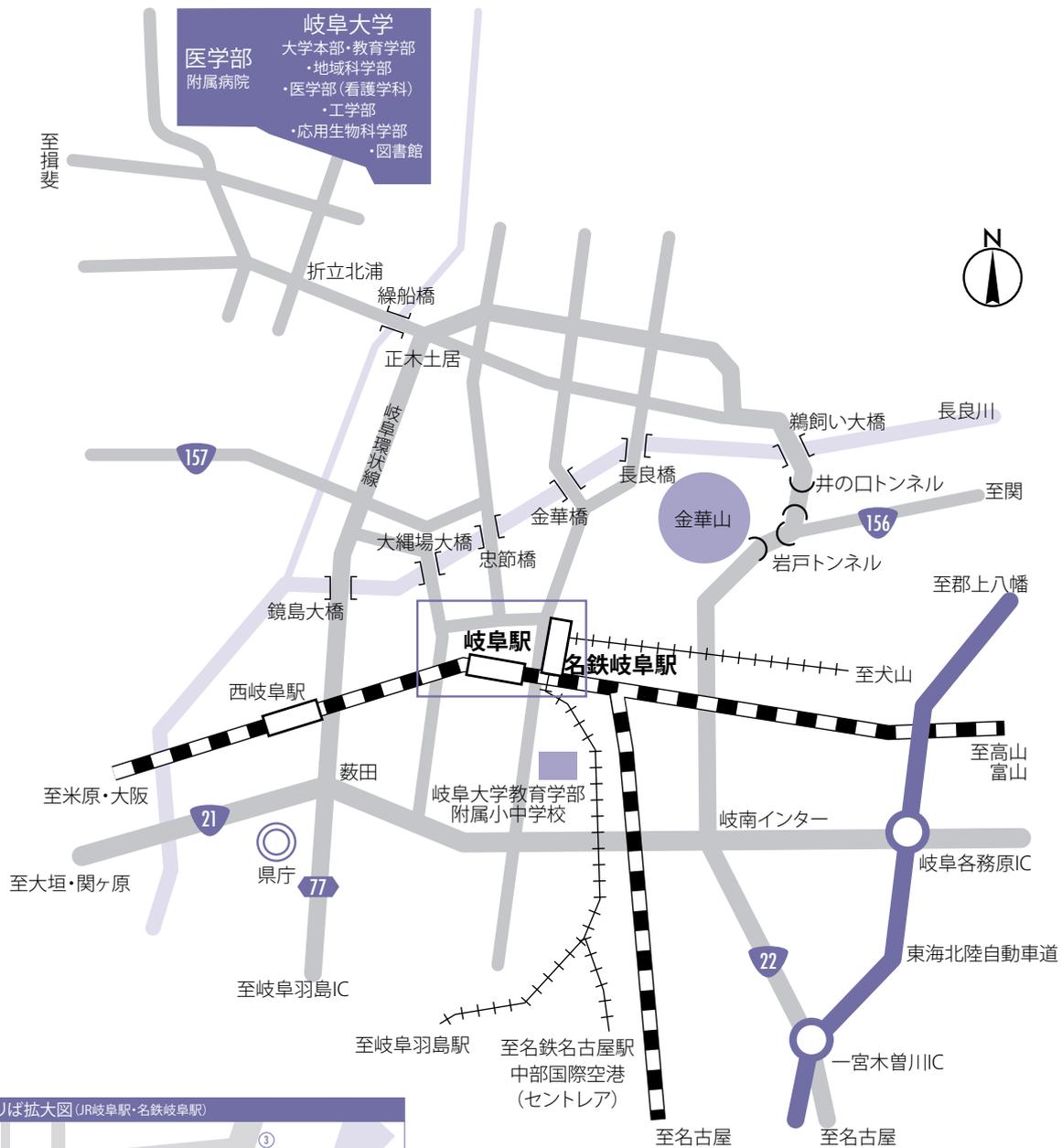
#### 自家用車

##### 【名神高速】

- ・岐阜羽島ICから岐阜環状線経由で, 約40分(約20km)
- ・一宮ICから国道22号を北進し,  
岐阜市街経由で, 約50分(約25km)

##### 【東海北陸自動車道】

- ・岐阜各務原ICから国道21号を西進し,  
岐阜環状線経由で40分(約20km)



### バスのりば案内

JR 岐阜駅北口・バスターミナルのりば				
のりば	路線名	系統	行先	所要時間
JR 岐阜 -3	岐阜大学・病院線	C70	岐阜大学病院	約 30 分
JR 岐阜 -3	岐阜大学・病院線	C60	岐阜大学	直行・快速 約 25 分
JR 岐阜 -3	岐南町線(長良橋経由)	N45	岐阜大学病院	約 35 分

名鉄岐阜のりば				
のりば	路線名	系統	行先	所要時間
名鉄岐阜 -5	岐阜大学・病院線	C70	岐阜大学病院	約 30 分
バスターミナル -E	岐阜大学・病院線	C60	岐阜大学	直行・快速 約 25 分
名鉄岐阜 -4	岐南町線(長良橋経由)	N45	岐阜大学病院	約 35 分

・バスはすべて「岐阜大学」に停車。バス系統 C は、忠節橋経由  
 ・直行便・快速便は、朝のみ運行 学休日・土・日曜日運休



【編集】岐阜大学経営企画部経営企画課広報室 〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1番1

TEL. 058-230-1111(代表) 058-293-2009 FAX. 058-293-3294

<http://www.gifu-u.ac.jp>